

添付資料 1 企業及び NGO/NPO の森林保全活動等の情報収集のためのアンケート調査票

(1) 企業

民間企業による森林保全活動への取組に関するアンケート調査

問合せ先: 財団法人 地球・人間環境フォーラム 森林保全活動アンケート係 熊沼 延
 TEL: 03-3813-9735 FAX: 03-3813-9737
 E-mail: gef@gef.or.jp
 http://www.gef.or.jp/forest/questionnaire

※ご回答・返信方法
 以下の URL よりダウンロードし、ご回答いただいたうえ、電子メールにて gef@gef.or.jp 宛て
 にご送付下さい。
[ダウンロード URL: http://www.gef.or.jp/forest/questionnaire](http://www.gef.or.jp/forest/questionnaire)
 調査用紙に直接ご記入いただき、添付の返信用封筒にてご郵送していただいても結構です。
※紙に着手ながら、ご回答は12月7日(火)までにお送りいただけますよう、お願い申し上げます。

1. 貴団体/貴組織の概要(※グループ企業等を含む運態ベースで答えて下さい。)

1. 名称	
〒	HP 上で公表可能な連絡先等をご記入ください。
住所:	
TEL:	
FAX:	
E-mail:	
URL:	
3. ご回答者氏名 及び連絡先	(公表いたしません。)
所属部署:	
氏名:	
E-mail:	

2. 掲載の可否
 「企業と NGO/NPO の森林保全活動に関する情報プラットフォームのデータベース」への掲載
 の可否についてご回答下さい。

a) 全回答の掲載に同意する
 b) 一部を除き掲載に同意する (掲載不可の質問項目:)
 c) 全回答の掲載に同意しない

【お願い】
 森林保全データベース構築情報プラットフォームへの掲載にご同意いただける場合、御社の森林
 保全活動の内容及び写真の提供につきまして、ご検討願いますようお願い申し上げます。
 【写真の形式: JPEG で長辺 600 ピクセル以上のもので】

【森林保全活動への取組状況】

問 1 御社では森林保全活動をを行っていますか。
 ※ここでは、植林、育林・森林整備活動、天然林の保全、コミュニティ林業、社会林業への支援、
 トラスト(土地の買い取り)による森林保全、観光に係る原材料調達における森林保全への配慮
 (例: 地元木材、認証木材原料の使用など)、投資先事業の森林への配慮、森林保全に貢献した産
 業への支援(例: 森林を養って提供するコーヒー栽培など)、森林保全活動を行っている NGO/NPO
 などへの助成・寄付、森林を用いた自然環境教育・社員研修、森林保全に関するシンポジウム・セ
 ミナーなどの開催などを指します。ただし、OA 用紙における再生紙利用などのオフィス用品に選
 ぶる森林への配慮は除外します。

a) 行っている
 b) 現在は行っていないが、過去に行っていた

問 2 御社が森林保全活動に取り組む理念・目的は何ですか。(3つまで複数回答可)

a) 森林の減少・劣化の防止に取り組むため
 b) 地域社会に貢献するため
 c) 事業活動による環境への負荷を低減するため
 d) 事業活動に必要な原材料を持続的に調達するため
 e) 従業員への環境教育やボランティア、福利厚生を促進するため
 f) その他(具体的に記入下さい)

(次項へつづく)

1

問3 御社で実施されている森林保全活動に関して、ご紹介いただいたものを以下にご記入下さい。
 なお、以下の問いについては、ご回答いただける範囲で記述してください。
 (複数の活動をご紹介いただける場合は、2つ目以降の活動を別紙にご記入下さい。)

① 森林保全活動の名称
 ()

② 森林保全活動を行っている場所
 a) 国内 (都道府県名 (市町村名):)
 b) 海外 (国名 (州・県名):)

③ 活動期間 (年～ 年)

④ 活動の分類 (下記から最も当てはまるものを選択して下さい。複数回答可)
 a) 植林活動 (企業の森、荒地地への植林など)
 b) 青林、森林整備活動 (下伐り、間伐、枝打など)
 c) コミュニティ林業、社会林業 (※1) への支援
 d) トラスト (土地の買い取り) による森林保全
 e) 製品に係る原材料調達における森林保全への配慮 (例: 地元木材、認証木材原料の使用など) (※2)
 f) 投資行動における森林保全への配慮
 g) 森林保全に配慮している産業界への支援 (例: 森林を毀して栽培するコーヒー栽培など)
 h) 森林保全活動を行っている NGO/NPO などへの助成・寄付
 i) 自然環境教育・社員研修 (森林学校など)
 j) 森林保全に関する調査や普及啓発
 k) その他 (具体的に記入下さい)

⑤ 他団体との連携の有無 (欄外の種類については複数回答可)
 a) 連携を行っている (欄外の種類 (※3):)
 b) 連携を行っていない

⑥ 当該森林保全活動が掲載されているホームページ等がありましたら、ご紹介下さい。
 ()

(注1) コミュニティ林業・社会林業: 地元コミュニティが主体として行う林業。農業等の他の生計手段と併せて行うことも多い。コミュニティ林業と社会林業はほぼ同義。
 (注2) 製品の原料における原材料調達に配慮している森林保全への配慮は除外し、製品の原料における原材料調達に決定するものとします。
 (注3) ①行政団体 (国、自治体)、②NGO/NPO、③森林分野の事業者 (森林組合など)、④企業、⑤大学などの研究機関、⑥小中学校などの教育機関、⑦その他

問4 御社の森林保全活動において、今後、NGO/NPOと連携したいと思いませんか。
 a) はい (連携したい活動の種類 (※4):)
 b) いいえ

(注1) ①植林活動、②青林・森林整備活動、③社会林業活動、④コミュニティ林業・社会林業の支援、⑤トラスト (土地の買い取り) による森林保全、⑥企業の原材料調達を通じた森林保全への配慮、⑦森林組合に加盟した事業への支援 (例: 森林整備でのコーディネート・教育、エコツアーなど)、⑧森林の問題に関する調査や普及啓発、⑨その他

問5 (別紙)
 御社で実施されている森林保全活動に関して、ご紹介いただいた活動以外で、ご紹介いただけるものを以下にご記入下さい。
 なお、以下の問いについては、ご回答いただける範囲で記述してください。

⑦ 森林保全活動の名称
 ()

⑧ 森林保全活動を行っている場所
 a) 国内 (都道府県名 (市町村名):)
 b) 海外 (国名 (州・県名):)

⑨ 活動期間 (年～ 年)

⑩ 活動の分類 (下記から最も当てはまるものを選択して下さい。複数回答可)
 a) 植林活動 (企業の森、荒地地への植林など)
 b) 青林、森林整備活動 (下伐り、間伐、枝打など)
 c) コミュニティ林業、社会林業 (※1) への支援
 d) トラスト (土地の買い取り) による森林保全
 e) 製品に係る原材料調達における森林保全への配慮 (例: 地元木材、認証木材原料の使用など) (※2)
 f) 投資行動における森林保全への配慮
 g) 森林保全に配慮している産業界への支援 (例: 森林を毀して栽培するコーヒー栽培など)
 h) 森林保全活動を行っている NGO/NPO などへの助成・寄付
 i) 自然環境教育・社員研修 (森林学校など)
 j) 森林保全に関する調査や普及啓発
 k) その他 (具体的に記入下さい)

⑪ 連携活動の有無 (欄外の種類については複数回答可)
 a) 連携を行っている (欄外の種類 (※3):)
 b) 連携を行っていない

⑫ 当該森林保全活動が掲載されているホームページ等がありましたら、ご紹介下さい。
 ()

(注2) コミュニティ林業・社会林業: 地元コミュニティが主体として行う林業。農業等の他の生計手段と併せて行うことも多い。コミュニティ林業と社会林業はほぼ同義。
 (注3) ①行政団体 (国、自治体)、②NGO/NPO、③森林分野の事業者 (森林組合など)、④企業、⑤大学などの研究機関、⑥小中学校などの教育機関、⑦その他

ご回答ありがとうございます

(2) NGO/NPO

NGO/NPO による森林保全活動への取組に関するアンケート調査

問合先：財団法人 地球・人間環境フォーラム 森林保全活動アンケート係 飯沼 浩
TEL：03-3813-9735 FAX：03-3813-9737
E-mail：gef@gef.or.jp
http://www.gef.or.jp/forest/questionnaire

※ご回答→返信方法
以下の URL よりダウンロードし、ご回答いただいたうえ電子メールにて gef@gef.or.jp 宛てにご送信下さい。
ダウンロード URL <http://www.gef.or.jp/forest/questionnaire>
調査用紙に直接ご記入いただき、添付の返信用封筒にてご郵送していただきます。

※締切に際しては、ご回答は12月7日(火)までにお送りください。お申し込みは、お急ぎください。

1. 貴団体の概要

1. 名称	(HP 上で公表可能な連絡先等をご記入ください)
2. 連絡先	〒 住所： TEL： FAX： E-mail： URL： (公表いたしません)
3. ご回答者氏名 及び連絡先	所属部署： 氏名： E-mail：

2. 掲載の可否
【必要と NGO/NPO の森林保全活動に関する情報(ブラットフォームのデータベース) への掲載の可否についてご回答下さい。】

a) 全回答の掲載に同意する
 b) 一部を除き掲載に同意する (掲載不可の質問項目：)
 c) 全回答の掲載に同意しない

【お願い】
森林保全パートナーシップ情報ブラットフォームへの掲載にご同意いただける場合、貴社の森林保全活動の内容がわかる写真の提供につきまして、ご検討頂きますようお願い申し上げます。
(写真の形式：JPEG で長辺 600 ピクセル以上のもの)

【森林保全活動への取組状況】

問1 貴団体では種々の森林保全活動*を行っていますか。
* ここでは、植林・育林・森林整備活動、天然林の保全、コミュニティ林業・社会林業への支援、トラスト(土地の買い取り)による森林保全、企業等の原材料調達における森林保全への配慮(例：地元木材、認証木材原料の使用など)への支援、森林保全に配慮した産物への支援(例：森林を養って栽培するコーヒー栽培など)、森林を用いた自然環境教育(エコツアーを含む)、森林保全に関するシンポジウム・セミナーなどの開催などを指します。ただし OA 用紙における再生紙利用規定のオフセット印刷における森林への配慮は除きます。

a) 行っている
 b) 現在行っていないが、過去に行っていた

問2 貴団体が森林保全活動に取り組み理念・目的は何ですか。(3つまで複数回答可)

a) 森林の減少・劣化の防止に取り組むため
 b) 地域社会に貢献するため
 c) 活動に必要な材料を持続的に調達するため(企業等の原材料調達の支援も含む)
 d) 環境教育のため
 e) その他(具体的に記入下さい)

(次項へつづく)

問3 貴団体が海外で実施されている森林保全活動に関して、ご紹介いただいたものを以下にご記入下さい。なお、以下の問いについては、ご回答いただける範囲で記述してください。
(複数の活動をご紹介いただける場合は、2つ目以降の活動を別紙にご記入下さい。)

① 森林保全活動の名称
()

② 森林保全活動を行っている場所
国名(州・県など)：()

③ 活動期間(年～ 年)

④ 活動の分類(下記から最も当てはまるものを選択して下さい。複数回答可)
 a) 産林活動(荒廃地への産林、熟産林の再生、マングローブ産林など)
 b) 産林、森林整備活動(下草刈、間伐など)
 c) 天然林の保全
 d) コミュニティ林業、社会林業(注1)への支援
 e) トラスト(土地の買い取り)による森林保全
 f) 企業の原材料調達を通じた森林保全への支援(例：調達方針策定の支援など)(注2)
 g) 森林保全に配慮している産林活動への支援(例：森林農法でのコーヒー栽培、エコツアーなど)
 h) 自然環境教育(森林学校など)
 i) 森林の問題に関する調査や普及啓発
 j) その他(具体的に記入下さい)

⑤ 【(4)でa)～g)を選択した場合】活動種類(対象面積・本数など)について、教えてください。
()

⑥ 連携活動の有無(機関の種類については複数回答可)
 a) 連携している(連携機関の種類)(注3)
 b) 連携していない

⑦ 森林保全活動の内容や特徴について教えてください(自由回答、200字程度)
()

⑧ 当該森林保全活動が掲載されているホームページ等がありましたら、ご紹介下さい。
()

注1) コミュニティ林業・社会林業：産林のコミュニティが主体として行う産林、農業者などの他の生産手段との組み合わせで行われることが多い。コミュニティ林業と社会林業はほぼ同義。
 注2) ここではオフイス用OA用紙における再生紙利用など、オフイス用品における森林保全への配慮は除外し、製品の原料における原材料調達に限定するものとします。
 注3) ①行政団体(国、自治体)、②NGO/NPO、③森林分野の事業者(森林組合など)、④企業、⑤大学などの研究機関、⑥小中学校などの教育機関、⑦その他
 (次項へつづく)

問4 海外における森林保全活動において、企業と連携したいと思いませんか。
 a) はい(企業に期待すること(注4))
 b) いいえ
 注4) ①資金面での支援、②人材・技術面での支援、③広報面での支援、④企業社員への地球市民教育、⑤その他

問5 森林保全活動に関心のある企業へ向けて、メッセージがあればご記入下さい。
()

ご回答ありがとうございました

(別紙)
貴団体が海外で実施されている森林保全活動に関して、問3でご回答いただいた活動以外で、ご紹介いただけるものを表下にご記入下さい。

なお、以下の問いについては、ご回答いただける範囲で記述してください。

⑨ 森林保全活動の名称
()

⑩ 森林保全活動を行っている場所
国名(州・県名など)()

⑪ 活動期間()年～()年

⑫ 活動の種類(下記からひとつも当てはまるものを選択して下さい。複数回答可)

- a) 森林活動(荒廃地への植林、荒廃林の再生、マングローブ植林など)
- b) 青林、森林整備活動(下草刈、間伐など)
- c) 天然林の保全
- d) コミュニティ林業、社会林業(注1)への支援
- e) コラヌスト(土地の買取り)による森林保全
- f) 企業の原材料調達を通じた森林保全への支援(例:調達方針策定の支援など)(注2)
- g) 森林保全に関連している産業活動への支援(例:森林農法でのコーヒー栽培、エコツアーなど)
- h) 自然環境教育(森林学校など)
- i) 森林の問題に関する調査や普及啓発
- j) その他(具体的に記入下さい)

⑬ 【④でa)～g)を選択した場合】活動規模(対象面積・本数など)について、教えてください。

()

⑭ 連携活動の有無(機関の種類については複数回答可)

- a) 連携している(連携機関の種類(注3):)
- b) 連携していない

⑮ 森林保全活動の内容や特徴について教えてください(自由回答、200字程度)

()

⑯ 当該森林保全活動が掲載されているホームページ等が有りましたら、ご紹介下さい。

()

注1) コミュニティ林業: 社会林業、市民林業、市民が主体的に活動し、農業等のその他の生計手段との統合を旨として行われることが条件。コミュニティ林業とは社会林業とは異なる。ここでオプティマス目 OA 用語には「市民林業」も含まれる。オプティマス目における森林保全への配慮は除外し、製品の原料における原料調達に関するものではありません。

注2) ①行政団体(国、自治体)、②NGO/NPO、③森林分野の事業者(森林組合など)、④企業、⑤大学などの研究機関、⑥小中学校などの教育機関、⑦その他。

添付資料2 企業及びNGO/NPOの森林保全活動等の情報収集のためのアンケート調査結果

(1) 企業

記号凡例

理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> a 森林の減少・劣化の防止に取り組むため b 地域社会に貢献するため c 事業活動による環境への負荷を低減するため d 事業活動に必要な原材料を持続的に調達するため e 従業員の環境教育やボランティア、福利厚生のお機ととするため f その他
活動の分類	<ul style="list-style-type: none"> a 植林活動(企業の森・法人の森、荒廢地への植林など) b 育林、森林整備活動(下草刈、間伐、枝打など) c 天然林の保全 d コミュニティ林業、社会林業への支援 e トラスト(土地の買取り)による森林保全 f 製品に係る原材料調達における森林保全への配慮(例:地元木材、認証木材原料の使用など) g 投融資行動における森林保全への配慮 h 森林保全に配慮している産業活動への支援(例:森林を残して栽培するコーヒー栽培など) i 森林保全活動を行っているNGO/NPOなどへの助成・寄付 j 自然環境教育・社員研修(森林学校など) k 森林保全に関する調査や普及啓発 l その他
連携機関の種類	<ul style="list-style-type: none"> ①行政団体(国、自治体) ②NGO/NPO ③森林分野の事業体(森林組合など) ④企業 ⑤大学などの研究機関 ⑥小中学校などの教育機関 ⑦その他
NGO/NPOと連携したい活動の種類	<ul style="list-style-type: none"> ①植林活動 ②育林、森林整備活動 ③天然林保全の活動 ④コミュニティ林業・社会林業の支援 ⑤トラスト(土地の買取り)による保全 ⑥企業の原材料調達を通じた森林保全への支援 ⑦森林保全に配慮している産業活動への支援(例:森林農法でのコーヒー栽培、エコツアーなど) ⑧環境教育(森林学校など) ⑨森林の問題に関する調査や普及啓発 ⑩その他

企業名	アースサポート株式会社		
住所	〒690-0025 島根県松江市八幡町 882 番地 2		
TEL	0852-37-2890	FAX	0852-37-2890
E-mail	earth@earth-support.jp		
URL	http://www.earth-support.jp/		
理念・目的	a,b,c		

森林保全活動の名称	カーボンオフセットによる内モンゴル自治区への植林		
活動場所	中華人民共和国 内モンゴル自治区		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.earth-support.jp/environment/evvil.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧

企業名	旭硝子株式会社		
住所	〒100-8405 東京都千代田区有楽町 1-12-1		
TEL	-	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.agc.com/csr/		
理念・目的	a,e		

森林保全活動の名称	森林ボランティア		
活動場所	神奈川県等		
活動期間	2008～		
活動の分類	b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②など
掲載ホームページ	http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	マングローブの植林		
活動場所	タイ王国		
活動期間	2003～		
活動の分類	a,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑥など
掲載ホームページ	http://www.agc.com/csr/env/act/biodiversity.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社朝日新聞社		
住所	〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2		
TEL	03-5541-8950	FAX	03-3541-8999
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,f メディアとして「森林の減少・劣化の防止」の重要性を指摘し、啓蒙活動を新聞紙面上で続けているが、「論だけでなく行動でも」という趣旨で、1978年に創刊100周年を記念して「山と木と人の共生」を基本理念に財団法人森林文化協会を設立した。		

森林保全活動の名称	森林の保護・育成のためのシンポジウム＝森林文化協会と共催		
活動場所	全国各地		
活動期間	1979～		
活動の分類	k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦財団法人森林文化協会、⑦社団法人国土緑化推進機構
掲載ホームページ	http://www.shinrinbunka.com/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧、⑨
森林保全活動の名称	生物多様性条約事務局「グリーンウェイブ」に賛同する植樹・植樹促進活動		
活動場所	東京都		
活動期間	2010～		
活動の分類	a,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦財団法人森林文化協会、⑦社団法人国土緑化推進機構
掲載ホームページ	http://www.shinrinbunka.com/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧、⑨

企業名	アサヒビール株式会社		
住所	〒130-8602 東京都墨田区吾妻橋 1-23-1		
TEL	03-5608-5195	FAX	03-5608-5201
E-mail	-		
URL	http://www.asahibeer.co.jp/		
理念・目的	a,b,c		

森林保全活動の名称	社有林「アサヒの森」の森林経営、水源地の森保全活動、レクリエーションの森オフィシャルサポーターなど		
活動場所	アサヒの森→広島県、水源地の森→9箇所、レクリエーションの森→8箇所		
活動期間	1941～		
活動の分類	a,b,c,e,f,i,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、④、⑤、⑥
掲載ホームページ	http://www.asahibeer.co.jp/csr/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧、⑨
森林保全活動の名称	アサヒスーパードライウまい！を明日へ！プロジェクト		
活動場所	47都道府県の約8割		
活動期間	2009～		
活動の分類	a,b,c,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、④、⑤、⑥
掲載ホームページ	http://www.asahibeer.co.jp/superdry/umaasu/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧、⑨

企業名	飯野海運株式会社		
住所	〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-13 芝大門フロントビル		
TEL	03-5408-0374	FAX	03-5408-0383
E-mail	srm-1@ex.iino.co.jp		
URL	http://www.iino.co.jp/kaiun/index.html		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	東京都港湾局主催の「海の森」植樹ボランティア		
活動場所	東京都江東区		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.iino.co.jp/kaiun/csr/report.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、⑩生物多様性

企業名	株式会社伊勢丹		
住所	〒103-8001 新宿区新宿 3-14-1		
TEL	03-3352-1111	FAX	-
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e,f 生物多様性		

森林保全活動の名称	メリーグリーンクリスマス(チャリティグッズ販売の収益金の寄付)		
活動場所	国内		
活動期間	2006～		
活動の分類	b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.greensanta.jp/		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社イトーキ		
住所	〒104-0042 東京都中央区入船 3-6-14 ニッセイ入船 3 丁目ビル		
TEL	03-3206-6201	FAX	03-3206-6290
E-mail	eco@itoki.jp		
URL	http://www.itoki.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	中国砂漠緑化活動への支援		
活動場所	中華人民共和国 内蒙古自治区通遼市		
活動期間	2004～		
活動の分類	a,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.itoki.jp/udeco/spotlight/forest.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧
森林保全活動の名称	中央区の森 森林保全活動		
活動場所	東京都檜原村		
活動期間	2010～		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	株式会社 INAX		
住所	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-3-2 トルナーレ日本橋浜町オフィス棟 7階		
TEL	-	FAX	-
E-mail	inaxpr@i2.inax.co.jp		
URL	http://www.inax.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	森でeこと(もりでいいこと)		
活動場所	国内		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、③
掲載ホームページ	http://www.inax.co.jp/eco/communication/forest/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	株式会社ウッドワン		
住所	〒738-8502 広島県廿日市市木材港南 1-1		
TEL	0829-32-3333	FAX	0829-32-6237
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,c,d		

森林保全活動の名称	法制林施業		
活動場所	海外		
活動期間	1990～		
活動の分類	a,b,f		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.woodone.co.jp/		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	NEC フィールドディング株式会社		
住所	〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28(三田国際ビル)		
TEL	03-3769-5645	FAX	03-3457-7106
E-mail	-		
URL	http://www.fielding.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「フィールドディングの森」づくり		
活動場所	インドネシア共和国 東カリマンタン州		
活動期間	2006～		
活動の分類	a,j,l 生物多様性の保全		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.fielding.co.jp/cr/eco/forest.html		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧、⑨
森林保全活動の名称	従業員社会貢献活動として「フィールドディンググローブ・メンテナンス」、「竹取物語」		
活動場所	東京都あきる野市		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b,l 里山保全、間伐材の活用(マイ箸作成)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.fielding.co.jp/cr/csr/report/2009/topics/index5.htm		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧、⑨

企業名	NTN株式会社		
住所	〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-3-17		
TEL	06-6449-3579	FAX	06-6443-3226
E-mail	isamu_narita@ntn.co.jp		
URL	-		
理念・目的	a,b,c,e		

森林保全活動の名称	しずおか未来の森サポーター		
活動場所	静岡県磐田市		
活動期間	2008～2012		
活動の分類	a,b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①静岡県
掲載ホームページ	http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-080/mori/kigyoku/kigyoku.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	企業と協働の森づくり		
活動場所	岡山県美作市		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①美作市
掲載ホームページ	http://www.ntn.co.jp/japan/ecology/pdf/2009/12.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	森林の里親		
活動場所	長野県駒ヶ根市		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	a,b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①駒ヶ根市
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	NTN こもれびの森		
活動場所	三重県桑名市多度町		
活動期間	2010～2014		
活動の分類	a,b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①多度町
掲載ホームページ	http://www.eco.pref.mie.jp/kigyounomori/details/index.asp?cd=2010110286		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	NTN 紀南 和(なごみ)の森		
活動場所	国内		
活動期間	2007～2016		
活動の分類	a,b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	-
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	株式会社 NTTドコモ		
住所	〒100-6150 東京都千代田区永田町 2-11-1		
TEL	03-5156-1439	FAX	-
E-mail	csr@nttdocomo.co.jp		
URL	http://www.nttdocomo.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「ドコモの森」づくり		
活動場所	全国各都道府県に開設(総数 49 箇所)		
活動期間	1999～		
活動の分類	a,b,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/ecology/protection/index.html#p01		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧
森林保全活動の名称	フィリピン共和国 PLDT 社との協働植林活動		
活動場所	フィリピン共和国		
活動期間	2008～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④現地法人 PLDT
掲載ホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/ecology/protection/index.html#p01		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	株式会社荏原製作所		
住所	〒144-8510 東京都大田区羽田旭町 11-1		
TEL	03-6275-7307	FAX	03-5736-3103
E-mail	eco@ebaracom		
URL	http://www.ebara.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	荏原グリーン基金		
活動場所	国内 海外		
活動期間	1995～		
活動の分類	a,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.ebara.co.jp/csr/communication/green.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧
森林保全活動の名称	神奈川水源の森		
活動場所	神奈川県		
活動期間	2007～2010		
活動の分類	b,l 水源地の森林保全活動		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://www.ebara.co.jp/csr/communication/act_forest.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧

企業名	大阪いずみ市民生活協同組合		
住所	〒590-0075 大阪府堺市堺区南花田口町 2-2-15		
TEL	072-232-3095	FAX	072-225-2517
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,f 構造メンバーである組合員のニーズに応えた活動であり、組合員の学習、体験の場として。		

森林保全活動の名称	里山自然体験		
活動場所	大阪府泉佐野市		
活動期間	2004～2010		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦大阪みどりのトラスト協会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	里山ボランティア体験		
活動場所	大阪府富田林市		
活動期間	2009～2010		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②NPO 富田林の自然を守る会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	大阪ガス株式会社		
住所	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 4 丁目 1 番地 2 号		
TEL	06-6205-4833	FAX	06-6202-1040
E-mail	pieco@osakagas.co.jp		
URL	-		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	和歌山県「企業の森・労働組合の森」		
活動場所	和歌山県中辺路町		
活動期間	-		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.osakagas.co.jp/company/csr/charter02/preservation.html		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	株式会社大林組		
住所	〒108-8502 東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟		
TEL	03-5769-1002	FAX	03-5769-1901
E-mail	csr@ml.obayashi.co.jp		
URL	http://www.obayashi.co.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	当社技術研究所敷地内の雑木林の調査管理		
活動場所	東京都清瀬市		
活動期間	1998～		
活動の分類	a,b,l 大林組技術研究所構内の雑木林(コナラ林 約 1.5ha)内には、国内希少種のキンラン(ラン科:絶滅危惧 II 類)が群生しています。雑木林の樹林密度や下草の状態、キンランの固体位置とそれぞれの生育状況を調査し、キンランの生育環境および雑木林の保全に取り組んでいます。2010年10月に、財団法人都市緑化基金の「生物多様性保全につながる企業のみどり100選」に認定されました。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.obayashi.co.jp/press/news20101008		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	⑧
森林保全活動の名称	型枠用熱帯材の使用量削減		
活動場所			
活動期間	1990～		
活動の分類	f,l 1990年から型枠用熱帯材の使用削減に取り組んできました。現在、当社の建設資機材のグリーン調達項目として、木材代替材料や合法木材の使用を調達基準に、持続可能な森林経営が営まれている森林からの産出材の使用を配慮事項としています。また1992年には、タイ国南部のナラチワ州の熱帯湿地林内に、高さ38mの熱帯林観測塔を建設し、タイ国・王位チャイパタナ財団に寄贈しました。この観測塔は、日本とタイの研究者によって共同で使用されています。		
他団体との連携の有無	-	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.obayashi.co.jp/press/news20010403		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	⑧

企業名	株式会社岡村製作所		
住所	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル 19 階		
TEL	045-319-3401	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.okamura.co.jp/		
理念・目的	a,c,d		

森林保全活動の名称	-		
活動場所			
活動期間	-		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	有	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.okamura.co.jp/company/csr/forest.html		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	-

企業名	沖縄電力株式会社		
住所	〒901-2502 沖縄県浦添市牧港 5-2-1		
TEL	098-877-2341	FAX	098-879-5813
E-mail	env_oki@okiden.co.jp		
URL	http://www.okiden.co.jp/		
理念・目的	b,c,e		

森林保全活動の名称	「残波しおさいの森」づくり		
活動場所	沖縄県読谷村		
活動期間	2004～2011		
活動の分類	a,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①沖縄県、①読谷村、①沖縄県緑化推進委員会
掲載ホームページ	http://www.okiden.co.jp/corporate/zanpa/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	オムロン株式会社		
住所	〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入		
TEL	075-344-7033	FAX	075-344-7049
E-mail	mono_qe@omron.co.jp		
URL	http://www.omron.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	京都モデルフォレスト活動		
活動場所	京都府 2ヶ所、京都市内 1ヶ所		
活動期間	2007～2010		
活動の分類	a,b,c		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://www.omron.co.jp/about/social/environ/forest.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	株式会社河合楽器製作所		
住所	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地		
TEL	-	FAX	-
E-mail	kankyo@kawai.co.jp		
URL	http://www.kawai.co.jp/		
理念・目的	a,c,e		

森林保全活動の名称	植林活動「カワイの森」		
活動場所	インドネシア共和国 カラワン県		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,b,f		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①インドネシア林業公社、③森林住民組合
掲載ホームページ	http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑥

企業名	川崎重工業株式会社		
住所	〒650-8680 神戸市中央区東川崎町 1-1-3		
TEL	-	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.khi.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「川崎重工 西谷(さいだに)なごみの森」での森づくり活動		
活動場所	兵庫県多可郡多可町		
活動期間	2008～2013		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③兵庫県森林組合連合会
掲載ホームページ	http://www.khi.co.jp/csr/report/2010/index.html		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	共同印刷株式会社		
住所	〒112-8501 東京都文京区小石川 4-14-12		
TEL	03-3817-2043	FAX	03-3817-2734
E-mail	-		
URL	http://www.kyodoprinting.co.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	森林認証製品の製造		
活動場所	国内		
活動期間	2002～2010		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.kyodoprinting.co.jp/social-environment/eco_action/eco_products.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑧、⑨

企業名	京都生活協同組合		
住所	〒601-8382 京都府京都市南区吉祥院石原上川原町 1 番地の 2		
TEL	075-672-6304	FAX	-
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	旭の森 森林保全活動		
活動場所	京都府亀岡市旭町		
活動期間	2010～		
活動の分類	a,b,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①旭町自治会、③京都モデルフォレスト協会
掲載ホームページ	http://www.kyoto.coop/index.php		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑩京都森林インストラクター会など

企業名	キリンビバレッジ株式会社		
住所	〒105-0001 東京都渋谷区神宮前 6 丁目 26-1		
TEL	03-6734-9310	FAX	03-5464-6130
E-mail	-		
URL	http://www.beverage.co.jp/		
理念・目的	b,d		

森林保全活動の名称	「かながわ水源の森づくり事業」サポート		
活動場所	神奈川県		
活動期間	2006～2011		
活動の分類	b,c		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①神奈川県自然環境保全センター
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-
森林保全活動の名称	カートカンの使用		
活動場所	国内		
活動期間	2004～2010		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦森を育む紙製飲料容器普及協議会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	キリンホールディングス株式会社		
住所	〒104-8288 東京都中央区新川 2-10-1		
TEL	03-5540-3599	FAX	03-5540-3550
E-mail	-		
URL	http://www.kirinholdings.co.jp/		
理念・目的	a,b,d,e		

森林保全活動の名称	琵琶湖水源の森		
活動場所	滋賀県犬上郡多賀町		
活動期間	2004～2015		
活動の分類	a,b,i,j,l 酒類・飲料製造工場の水源地の森を保全する活動(今回紹介した分も含め、同様の取組を全国 17 個所で行っています。)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③大滝山林組合
掲載ホームページ	http://www.kirin.co.jp/csr/env/ns_society/favor/index.html http://www.kirinholdings.co.jp/csr/env/water/defends.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	株式会社熊谷組		
住所	〒162-8557 東京都新宿区津久戸町 2-1		
TEL	03-3235-8114	FAX	03-5261-9665
E-mail	-		
URL	http://www.kumagaigumi.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「夕日ヶ兵森林整備」活動		
活動場所	福島県二本松市他		
活動期間	2007～		
活動の分類	b,d,j		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://shinka-club.eco.to/houkoku20091108.htm		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②

企業名	栗田工業株式会社		
住所	〒160-8383 東京都新宿区西新宿 3-4-7		
TEL	03-3347-3111	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.kurita.co.jp/		
理念・目的	f 創立 50 周年記念事業として、企業ビジョン「水と環境の先進的マネジメント企業」のシンボルとして、植林を実施した。		

森林保全活動の名称	クリタ麻生平「四季彩の森」		
活動場所	東京都西多摩郡日の出町		
活動期間	1999～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③、⑦社員・OB のボランティア
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	KDDI 株式会社		
住所	〒102-8460 東京都千代田区飯田橋 3-10-10		
TEL	03-6678-1381	FAX	03-6678-0317
E-mail	csr@kddi.com		
URL	http://www.kddi.com/csr/		
理念・目的	a,b,e,f お客様への環境意識醸成の機会提供		

森林保全活動の名称	取扱説明書のリサイクルによる森林保全活動		
活動場所	宮城県、山梨県、愛知県、京都府、神奈川県、東京都		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b,i,j,l 取扱説明書、梱包箱を回収する「取説リサイクル」で発生した古紙売上金を活用		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.kddi.com/corporate/csr/activity/kankyo/biodiversity/index.html http://www.kddi.com/corporate/csr/csr_report/2010/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④
森林保全活動の名称	au Smart Sports Green Road Project		
活動場所	北海道知床、鹿児島県屋久島、和歌山県熊野古道		
活動期間	2009～		
活動の分類	b,i,j,l お客様のスポーツシーンを au 携帯電話でサポートするサービス「au Smart Sports Run& Walk」を通じ、お客様の走行距離を 1km1 円に換算し、KDDI が国内環境保全のために寄付を行うと同時に、お客様も参加した森林保全活動等を行うお客様参加型の環境保全活動です。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://au-ss.jp/grp/pc/index.html http://www.kddi.com/corporate/csr/csr_report/2010/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④

企業名	株式会社神戸製鋼所		
住所	〒141-8688 品川区北品川 5 丁目 9-12		
TEL	03-5739-6026	FAX	03-5739-6915
E-mail	-		
URL	http://www.kobelco.co.jp/		
理念・目的	b		

森林保全活動の名称	「植樹会」当社グループの「コベルコシステム」が実施中		
活動場所	神戸市六甲山		
活動期間	2007～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.kobelco.co.jp/environment/kaiji/report/2010/pdf/27.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②
森林保全活動の名称	「クリーンハイク&森の世話人」活動 当社グループの「コベルコシステム」が実施中		
活動場所	神戸市六甲山系（主に、東灘区内の金鳥山南側斜面）		
活動期間	2006～		
活動の分類	a,b,i,j,l ハイキングを行いながら沿道のゴミを拾う「クリーンハイク」を 2006 年 11 月から実施。「森の世話人」活動は、2010 年 3 月から、「クリーンハイク」と合わせて実施中。NPO 法人「六甲山の自然を学ぼう会」のご協力により、参加者に対する自然環境教育も実施。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://www.kobelco.co.jp/environment/kaiji/report/2010/pdf/22.pdf http://www.kobelco.co.jp/environment/kaiji/report/2010/pdf/27.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②

企業名	生活協同組合コープいしかわ		
住所	〒920-2148 石川県白山市行町西 1 番地		
TEL	076-275-7575	FAX	076-275-9950
E-mail	info@coop-ishikawa.or.jp		
URL	http://www.ishikawa.coop/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	コープの森づくり		
活動場所	石川県金沢市坪野		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.ishikawa.coop/event/report/081025.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	生活協同組合コープこうべ		
住所	〒658-8555 兵庫県神戸市東灘区住吉本町1丁目3-19		
TEL	078-856-2068	FAX	078-856-1700
E-mail	kankyou@kobe.coop.or.jp		
URL	http://www.kobe.coop.or.jp/		
理念・目的	a,b,f この取り組みを通じて、里山の意義や、食べものをはじめとする暮らしのつながりについて、組合員さまに体験的に学んでいただくため。		

森林保全活動の名称	コープの森・社家郷山(しゃげごうやま)		
活動場所	兵庫県西宮市		
活動期間	2008～2018		
活動の分類	b,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①兵庫県、①西宮市、②NPO 法人子ども環境活動支援協会、③兵庫県森林組合連合会、⑦社団法人兵庫県緑化推進協会
掲載ホームページ	http://eco.coop-kobe.net/forest/		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	PB商品(コープス日本の杉でつくった割箸、コープス日本の竹でつくった割箸)の開発・供給		
活動場所	国内		
活動期間	-		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	-		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	-

企業名	生活協同組合コープとうきょう		
住所	〒164-0011 東京都中野区中央5-6-2		
TEL	03-3382-5720	FAX	03-3382-5704
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	多摩の森・大自然塾		
活動場所	東京都		
活動期間	2008～		
活動の分類	i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://tokyo.coopnet.or.jp/ http://juon.univcoop.or.jp/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	コスモ石油株式会社		
住所	〒105-8528 東京都港区芝浦 1-1-1 東芝ビル		
TEL	03-3798-3211	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.cosmo-oil.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「コスモの森」里山保全活動		
活動場所	千葉県市原市、奈良県吉野郡東吉野村、愛媛県松山市		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、⑥、⑦
掲載ホームページ	http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/social/region.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧
森林保全活動の名称	コスモ石油エコカード基金「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト「種まき塾」 「シルクロード緑化」「秦嶺山脈 森林・生態系回復」「内モンゴル緑化」		
活動場所	北海道富良野市(種まき塾) 中華人民共和国 甘肅省(シルクロード緑化)、陝西省(秦嶺山脈 森林・生態系回復)、内モンゴル自治区(内モンゴル緑化)		
活動期間	2002～		
活動の分類	a,b,i,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、⑤、⑥
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	佐川急便株式会社		
住所	〒136-8636 東京都江東区新砂 2-1-1		
TEL	03-3699-3611	FAX	03-3646-3977
E-mail	eco@sagawa-exp.co.jp		
URL	http://www.sagawa-exp.co.jp/		
理念・目的	b,c,e		

森林保全活動の名称	「高尾 100 年の森」プロジェクト		
活動場所	東京都八王子市元八王子町		
活動期間	2007～		
活動の分類	b,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦財団法人水と緑の惑星保全機構
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	さがわの森		
活動場所	高知県(一部徳島県)		
活動期間	1990～		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③香美森林組合ほか
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	サラヤ株式会社		
住所	〒546-0013 大阪府大阪市東住吉区湯里 2-2-8		
TEL	06-6706-6116	FAX	06-6702-6632
E-mail	-		
URL	http://www.saraya.com		
理念・目的	a,c,d		

森林保全活動の名称	「ボルネオはあなたが守る」キャンペーン		
活動場所	マレーシア サバ州		
活動期間	2004～		
活動の分類	e,f,i,j,k,l 熱帯雨林の生物多様性保全		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②NPO 法人ボルネオ保全トラストジャパン
掲載ホームページ	http://www.yashinomi.jp		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	株式会社島津製作所		
住所	〒604-8511 京都府京都市中京区西ノ京桑原長1		
TEL	075-823-1111	FAX	075-823-3188
E-mail	-		
URL	http://www.shimadzu.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	島津製作所の森づくり活動(京都モデルフォレスト運動へ参加)		
活動場所	京都府南丹市		
活動期間	2008～2018		
活動の分類	a,b,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.kyoto-modelforest.jp/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑥

企業名	住江織物株式会社		
住所	〒542-8504 大阪市中央区南船場 3-11-20		
TEL	06-6251-6705	FAX	06-6251-0813
E-mail	Yoshiki_Hayashi@sin.suminoe.co.jp		
URL	http://www.suminoe.jp/		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	大阪みどりのトラスト協会		
活動場所	大阪府		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	f,i		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧

企業名	住友ゴム工業株式会社		
住所	〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 3-6-9		
TEL	078-265-3001	FAX	078-265-3111
E-mail	CSR-genki@srigroup.co.jp		
URL	http://www.srigroup.co.jp/csr/		
理念・目的	a,c,e		

森林保全活動の名称	GENKI の森		
活動場所	兵庫県神戸市		
活動期間	2009～2018		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①国交省六甲砂防、⑤兵庫県立大学
掲載ホームページ	http://www.srigroup.co.jp/csr/		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	積水ハウス株式会社		
住所	〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビルタワーイースト		
TEL	06-6440-3374	FAX	06-6440-3438
E-mail	https://www.sekisuihouse.co.jp/mail/eco_form.html		
URL	http://www.sekisuihouse.co.jp/		
理念・目的	a,b,c		

森林保全活動の名称	「木材調達ガイドライン」の策定と運用		
活動場所	世界中		
活動期間	2007～		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②国際環境 NGO FOE Japan
掲載ホームページ	http://www.sekisuihouse.co.jp/biodiversity/index.html http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2010/highlight/highlight02-04-04.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	「企業の森」植栽活動		
活動場所	和歌山県、岡山県、青森県など		
活動期間	2006～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③、⑦地元婦人会など住民
掲載ホームページ	http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2010/social-act/sa09-03-02.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	株式会社セブン&アイ・ホールディングス		
住所	〒102-8452 東京都千代田区二番町 8-8		
TEL	03-6238-3000	FAX	03-6238-3490
E-mail	-		
URL	http://www.7andi.com/		
理念・目的	a,b,f 地球温暖化・生物多様性の保全などの地球規模の環境課題の解決に貢献し、企業の社会的責任を果たすため。		

森林保全活動の名称	原生熱帯林保全プログラム		
活動場所	インドネシア共和国 ジャワ島南部のメル・ベチーリ国立公園		
活動期間	2010～2013		
活動の分類	c,l 住民参加により、住民の意識向上・生活向上につなげる。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦国際熱帯木材機関(ITTO)
掲載ホームページ	http://www.7andi.com/csr/csrreport_2010.html		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-
森林保全活動の名称	グリーンラッピング/簡易包装キャンペーン		
活動場所	北海道雨竜、山梨県笛吹市、熊本県球磨村		
活動期間	2009～		
活動の分類	a,b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②NPO 法人環境リレーションズ研究所
掲載ホームページ	http://www.sogo-seibu.co.jp/csr_hokoku.html		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	大栄環境グループ		
住所	〒658-0031 兵庫県神戸市東灘区向洋町東 2丁目 2-4		
TEL	078-857-5276	FAX	078-857-5186
E-mail	-		
URL	http://www.dinsgr.co.jp/		
理念・目的	a,b,c,e		

森林保全活動の名称	企業の森づくり活動		
活動場所	国内		
活動期間	2008～2013		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①三重県、①伊賀市
掲載ホームページ	http://www.eco.pref.mie.jp/details/index.asp?cd=2010050056		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑦、⑧

企業名	ダイキン工業株式会社		
住所	〒530-8323 大阪府大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号 梅田センタービル		
TEL	06-6374-9304	FAX	06-6373-4380
E-mail	csr@daikin.co.jp		
URL	http://www.daikin.co.jp/		
理念・目的	a,b,c		

森林保全活動の名称	インドネシア 森林再生プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国 ジャワ島		
活動期間	2008～2011		
活動の分類	a,i,j,k 地元ガイドの育成(地元住民の代替収入手段として)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②国際 NGO コンサベーション・インターナショナル
掲載ホームページ	http://www.daikinaircon.com/eco/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④、⑧、⑨
森林保全活動の名称	グローバル研修所「ダイキンアレス青谷」での海岸林の復元		
活動場所	鳥取県青谷町		
活動期間	2008～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④、⑧、⑨

企業名	大成建設株式会社		
住所	〒163-0606 東京都新宿区西新宿 1-25-1		
TEL	03-5381-5011	FAX	03-3345-1386
E-mail	-		
URL	http://www.taisei.co.jp/		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	富士山南陵の森 フォレストセイバープロジェクト		
活動場所	静岡県富士宮市		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,b,c,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、④、⑤、⑥
掲載ホームページ	http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/tokusyu/fuji.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧
森林保全活動の名称	東京グリーンシップ・アクション		
活動場所	東京都町田市七国山		
活動期間	2007～		
活動の分類	b,c,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://www.taisei.co.jp/about_us/csr/kouken/jirei/syain.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧

企業名	太陽誘電株式会社		
住所	〒370-8522 群馬県高崎市栄町 8-1		
TEL	027-324-2341	FAX	027-324-2326
E-mail	-		
URL	http://www.yuden.co.jp/		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	「太陽の森」森林保全ボランティア活動		
活動場所	群馬県高崎市中室田町		
活動期間	2007～2010		
活動の分類	b,1 群馬県森林組合と森林所有者と弊社の三者で契約(5年契約)を結んで森林保全ボランティア活動を行なっています。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③群馬県森林組合
掲載ホームページ	-		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-
森林保全活動の名称	「太陽山」森林保全活動		
活動場所	群馬県高崎市中室田町		
活動期間	2010～		
活動の分類	b,1 弊社で所有している山林(杉林)の間伐、枝打ち。しばらく作業をしていなかったことと急斜面のため社員では危険なため作業は森林組合に依頼しました。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③群馬県森林組合
掲載ホームページ	-		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	TANAKA ホールディングス株式会社		
住所	〒100-6422 東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22 階		
TEL	03-6311-5505	FAX	03-6311-5511
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	森の町内会		
活動場所	岩手県岩泉町		
活動期間	2008～		
活動の分類	h		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.o-cho.org/		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	中越パルプ工業株式会社		
住所	〒933-8533 富山県高岡市米島 282		
TEL	0766-26-2401	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.chuetsu-pulp.co.jp/		
理念・目的	b,c,d		

森林保全活動の名称	かぐやの竹利用応援事業		
活動場所	富山県		
活動期間	2010～		
活動の分類	b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③など
掲載ホームページ	http://www.chuetsu-pulp.co.jp/pdf/news/others/20100728kaguyanotake.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	「里山物語」ペーパー販売		
活動場所	国内		
活動期間	2009～		
活動の分類	f,i,l 間伐材を原料とする紙の価格に寄付金を乗せて販売し、その寄付金をもとに地域の団体への助成を行っております。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.chuetsu-pulp.co.jp/pdf/news/others/091113satoyama.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	海外植林		
活動場所	ベトナム社会主義共和国、ニュージーランド		
活動期間	1997～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④
掲載ホームページ	http://www.chuetsu-pulp.co.jp/eco/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	里山保全再生ネットワーク		
活動場所	富山県、鹿児島県		
活動期間	-		
活動の分類	b,f,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③とやまの竹資源ネットワーク
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、③、⑦

企業名	テルモ株式会社		
住所	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1		
TEL	03-3374-8111	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.terumo.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	テルモ富士山森づくり		
活動場所	富士山麓もしくは富士山周辺		
活動期間	2003～		
活動の分類	a,b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②(予定)
掲載ホームページ	http://www.terumo.co.jp/company/csr/society/social_relations05.html		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	株式会社デンソー		
住所	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1		
TEL	0566-61-5650	FAX	0566-25-4525
E-mail	yoshinori_watanabe@denso.co.jp		
URL	-		
理念・目的	a,b,f 地域の方、従業員の環境教育やボランティアの機会とするため。		

森林保全活動の名称	デンソー緑のプロジェクト		
活動場所	愛知県		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	a,b,c,d,i,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、④、⑤、⑥
掲載ホームページ	http://www.denso.co.jp/ja/csr/social/social/eco/report2009/091122.html http://www.denso.co.jp/ja/news/topics/2010/101015-01.html http://www.denso.co.jp/ja/news/topics/2010/101112-01.html http://www.denso.co.jp/ja/news/topics/2010/100311-01.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④、⑦、⑧、⑨

企業名	東亜合成株式会社		
住所	〒105-8419 東京都港区西新橋 1-14-1		
TEL	03-3597-7215	FAX	03-3597-7217
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	千年の森活動		
活動場所	徳島県立高丸山千年の森		
活動期間	2003～		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	-	連携機関	-
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	株式会社東急ホームズ		
住所	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-21-14		
TEL	03-3462-1166	FAX	03-3496-1694
E-mail	-		
URL	http://www.tokyu-homes.co.jp/		
理念・目的	b,c,d		

森林保全活動の名称	フェアウッド調達		
活動場所	国内		
活動期間	-		
活動の分類	f,i,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②FoEJapan
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑦、⑨

企業名	東京ガス株式会社		
住所	〒105-8527 港区海岸 1-5-20		
TEL	0570-002211	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.tokyo-gas.co.jp/		
理念・目的	a,b,c,e		

森林保全活動の名称	「長野・東京ガスの森」、どんぐりプロジェクト		
活動場所	長野県北佐久郡御代田町、(東京都町田市)		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,b,c,e,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、③
掲載ホームページ	http://www.tokyo-gas.co.jp/env/forest/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	③、⑧、⑨
森林保全活動の名称	どんぐりプロジェクト		
活動場所	東京都町田市、富士山麓等		
活動期間	1994～2004		
活動の分類	a,b,l 「長野・東京ガスの森」を取得した後も、東京都町田市の里山保全是継続して実施している。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.tokyo-gas.co.jp/ecocom/donguri/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	③、⑧、⑨

企業名	東京コカ・コーラボトリング株式会社		
住所	〒108-8512 東京都港区芝浦 2-15-6		
TEL	03-5444-8457	FAX	03-5476-2188
E-mail	-		
URL	http://www.tokyo.ccbc.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	東京グリーンシップアクション		
活動場所	東京都青梅市		
活動期間	2003～		
活動の分類	b,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①東京都環境局、②NPO 法人環境学習研究会
掲載ホームページ	http://www.tokyo.ccbc.co.jp/entry474.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社東芝		
住所	〒105-0092 東京都港区芝浦 1-1-1		
TEL	03-3457-2377	FAX	03-5444-9210
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	東芝グループ 150 万本の森づくり		
活動場所	国内 12 都府県 海外 10 ケ国		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,b,d,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://morizukuri.toshiba.co.jp/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑩主に海外での活動において

企業名	東都生活協同組合		
住所	〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4F		
TEL	03-5374-4756	FAX	03-5374-4759
E-mail	-		
URL	http://www.tohto-coop.or.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	「魚つきの森」植樹協議会		
活動場所	北海道枝幸、宮城県石巻市		
活動期間	2007～		
活動の分類	f,h 植樹活動を通じて水産資源を守り、漁場や資源管理型漁業によって生産される生産物の利用促進を目的に実施しています。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、⑥、⑦漁業組合
掲載ホームページ	http://www.tohto-coop.or.jp/		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	-

企業名	凸版印刷株式会社		
住所	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地		
TEL	03-3835-5535	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.toppan.co.jp/		
理念・目的	c,d		

森林保全活動の名称	紙製飲料容器「カートカン」の拡販、製造		
活動場所	国内		
活動期間	1997～		
活動の分類	f,i f)容器の材料となる用紙は、間伐材を含む国産材を30%以上使用。 i)飲料メーカーへの売上の一部を「緑の募金」に寄付		
他団体との連携の有無	-	連携機関	-
掲載ホームページ	http://package.toppan.co.jp/cartocan/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑩生物多様性に配慮した森林保全活動に関して

企業名	利根コカ・コーラボトリング株式会社		
住所	〒278-8686 千葉県野田市中根 310 番地		
TEL	04-7123-1133	FAX	04-7123-1185
E-mail	-		
URL	http://www.tone.ccbc.co.jp/		
理念・目的	b,c,f 弊社の事業活動に重要な水。その水資源保護活動を目的とした「森に学ぼう」プロジェクトを全国のコカ・コーラシステムで行っています。次世代を担う子どもたちが、森林について「知る」、森林の大切さを「学ぶ」、環境保全活動に参加し「体験する」そして自然保護の大切さを「理解する」事を目的としたものです。		

森林保全活動の名称	「森に学ぼう」プロジェクト		
活動場所	千葉県、茨城県、栃木県		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	1・弊社社員による小学校への環境訪問授業 ・自然体験学習		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、⑥
掲載ホームページ	http://www.cocacola.co.jp/morimana/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧
森林保全活動の名称	「森に学ぼう」プロジェクト		
活動場所	全国各地		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	a,b,i,j,l コカ・コーラシステムでは、全国の各ボトラーが、地域密着の森林保全活動を推進しています。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、⑥
掲載ホームページ	http://www.cocacola.co.jp/morimana/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑧

企業名	トヨタ自動車株式会社		
住所	〒470-0201 愛知県みよし市黒笹町丸根 1099 番地 トヨタバイオ・緑化研究所		
TEL	0561-36-8455	FAX	0561-36-8469
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	The Philippine Peñablanca Sustainable Reforestation Project		
活動場所	フィリピン共和国 カガヤン州		
活動期間	2007～2013		
活動の分類	a,b,c,d,i,l 社員によるボランティア植林活動		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://www.toyota.co.jp/jp/social_contribution/environment/rain_forest_restoration.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④
森林保全活動の名称	日中 21 世紀中国首都圏環境緑化モデル拠点		
活動場所	中華人民共和国 河北省		
活動期間	2001～2011		
活動の分類	a,b,d,i,l 社員によるボランティア植林活動		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://www.toyota.co.jp/jp/social_contribution/environment/greenddam.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④

企業名	市民生活協同組合ならコープ		
住所	〒631-8503 奈良県恋の窪一丁目2番地2号		
TEL	0742-34-8731	FAX	0742-34-8730
E-mail	-		
URL	http://www.naracoop.or.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	吉野の森の水を守るための募金		
活動場所	奈良県吉野郡		
活動期間	2010～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	③JAならけん、③奈良県森林組合連合会
掲載ホームページ	http://www.naracoop.or.jp/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	成田国際空港株式会社		
住所	〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内(成田市古込字古込1-1)		
TEL	0476-34-5400	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.naa.jp/jp/		
理念・目的	a,b,c,e		

森林保全活動の名称	成田空港周辺緑化基本計画に基づく緑化施設等の整備		
活動場所	千葉県成田市周辺地域		
活動期間	1995～		
活動の分類	a,b,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.naa.jp/jp/csr/		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社ニコン		
住所	〒100-8331 東京都千代田区有楽町1-21-1 新有楽町ビル		
TEL	03-3216-1299	FAX	03-3216-1455
E-mail	magariyama.kenichi@nikon.co.jp		
URL	http://www.nikon.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「富士山の森づくり」プロジェクト		
活動場所	山梨県		
活動期間	2007～2015		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②財団法人オイスカ
掲載ホームページ	http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/mountain-fuji/index.htm		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧
森林保全活動の名称	「赤谷プロジェクト」		
活動場所	群馬県		
活動期間	2005～		
活動の分類	i,j 表記プロジェクトは、森林保全というより生物多様性復元を目的としています。国(林野庁)と自然保護団体、そして地域の3者の協働プロジェクトです。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦日本自然保護協会
掲載ホームページ	http://www.nikon.co.jp/csr/society/earth/akaya-project/index.htm		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	日置電機株式会社		
住所	〒386-1192 長野県上田市小泉 81		
TEL	0268-28-0555	FAX	0268-28-0559
E-mail	syamazak@hioki.co.jp		
URL	http://www.hioki.co.jp/		
理念・目的	b,c,e		

森林保全活動の名称	ふるさとの森づくり		
活動場所	国内		
活動期間	1995～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://www.hioki.co.jp/jp/cont/cont4.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑨
森林保全活動の名称	ケニア植生回復プロジェクト		
活動場所	ケニア共和国		
活動期間	2007～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑨

企業名	日興コーディアル証券株式会社		
住所	〒103-8225 東京都中央区日本橋兜町 6-5		
TEL	03-5644-3111	FAX	03-5644-4555
E-mail	-		
URL	http://www.nikko.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	Green Week		
活動場所	国内		
活動期間	2010～		
活動の分類	b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②地球緑化センター
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑦、⑧

企業名	日本通運株式会社		
住所	〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目 9 番 3 号		
TEL	03-6251-1418	FAX	03-6251-6668
E-mail	taa-yamaguchi@nittsu.co.jp		
URL	http://www.nittsu.co.jp/		
理念・目的	a,c,e		

森林保全活動の名称	東日本地区「日通の森」森林育成活動		
活動場所	山形県西置賜郡飯豊町中津川地区		
活動期間	2007～2010		
活動の分類	a,b,c,j,l 森林育成活動の中で、間伐材を利用した「きのこ」の栽培を行い、その成果物を地元の施設に寄付している。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、⑥
掲載ホームページ	http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	西日本地区「日通の森」森林育成活動、伊豆韮山地区森林育成活動		
活動場所	鳥取県日野郡日南町、静岡県伊豆の国市		
活動期間	2009～2010		
活動の分類	a,b,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://www.nittsu.co.jp/corporate/contribution/afforest.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	日本ハム株式会社		
住所	〒141-6014 東京都品川区大崎 2 丁目 1 番 1 号 ThinkPark Tower		
TEL	03-6748-8084	FAX	03-6748-8179
E-mail	-		
URL	http://www.nipponham.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「みんなの森林(もり)」活動		
活動場所	茨城県桜川市、愛知県瀬戸市、兵庫県たつの市		
活動期間	2002～		
活動の分類	a,b,c,j,l 一般のお客様にご参加いただいて、森林整備活動や森林レクリエーションを実施しています。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦財団法人日本鳥類保護連盟
掲載ホームページ	https://www.nipponham.co.jp/group/ecology/mori/index.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	北海道日本ハムファーターズ「B☆B の森」		
活動場所	北海道の千歳と支笏湖を結ぶ国有林約 18.5ha		
活動期間	2008～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦一般募集のボランティアと球団職員の連携
掲載ホームページ	http://www.fighters.co.jp/company/effort/eco/detail/0902_2.php		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	日本航空		
住所	〒140-8637 東京都品川区東品川 2-4-11		
TEL	03-5460-6837	FAX	03-5460-6839
E-mail	-		
URL	http://www.jal.com/ja/environment/		
理念・目的	a,b,e,f 全社的 社会貢献事業のひとつとして		

森林保全活動の名称	「JAL マイル・フォー・エコ」キャンペーン		
活動場所	中華人民共和国、モンゴル国		
活動期間	2006～		
活動の分類	a,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②財団法人オイスカ
掲載ホームページ	http://www.jal.com/ja/environment/social/social03.html		
NGO/NPO との連携希望	現在、活動方針未定	活動の種類	-
森林保全活動の名称	森林火災発見・通報		
活動場所	ロシア連邦、アメリカ合衆国、マレーシア他 シベリア、アラスカ、ボルネオ島		
活動期間	2003～		
活動の分類	1 上空航行中の航空機からの、森林火災の発見と通報による延焼防止及び消火活動協力。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤JAXA 宇宙航空研究開発機構
掲載ホームページ	http://www.jal.com/ja/environment/social/social03.html		
NGO/NPO との連携希望	現在、活動方針未定	活動の種類	-

企業名	日本国土開発株式会社		
住所	〒107-8466 東京都港区赤坂 4-9-9		
TEL	03-5410-5792	FAX	03-5410-5799
E-mail	-		
URL	http://www.n-kokudo.co.jp/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	マレーシア国トレンガヌ州熱帯雨林再生プロジェクト		
活動場所	マレーシア トレンガヌ州		
活動期間	1994～1999		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④ユアサ商事株式会社
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	※現在活動していないため、どちらともいえない。	活動の種類	-

企業名	日本信号株式会社		
住所	〒100-6513 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号(新丸の内ビルディング)		
TEL	03-3217-7200	FAX	03-3217-7300
E-mail	info@signal.co.jp		
URL	http://www.signal.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	日本信号の森林づくり		
活動場所	埼玉県東秩父村		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①埼玉県農林部、①埼玉県農林公社
掲載ホームページ	http://www.signal.co.jp/company/environment/archive.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	日本たばこ産業株式会社		
住所	〒105-8422 東京都港区虎ノ門 2-2-1		
TEL	03-3582-3111	FAX	03-5572-1443
E-mail	-		
URL	http://www.jti.co.jp/		
理念・目的	a,b,d,e,f 海外での活動に関して、現地における重要な社会的課題(生産基盤・生活環境の向上など)の解決		

森林保全活動の名称	植林/森林保全活動「JTの森」		
活動場所	和歌山県、山梨県、高知県、鳥取県、岐阜県、鹿児島県、熊本県、山形県、北海道		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,b,c,h,i,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://www.jti.co.jp/csr/forest/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-
森林保全活動の名称	植林/森林保全活動		
活動場所	マラウイ、タンザニア、ザンビア、フィリピン共和国		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,b,c,h,i,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②トータルランドケア、タニムカリカサン
掲載ホームページ	http://www.jti.co.jp/csr/contribution/environment/afforestation/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	-

企業名	パイオニア株式会社		
住所	〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1-1		
TEL	044-580-3296	FAX	044-580-4014
E-mail	eco.p@post.pioneer.co.jp		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	パイオニアの森		
活動場所	埼玉県入間郡毛呂山町		
活動期間	2005～		
活動の分類	b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
掲載ホームページ	http://pioneer.jp/environment/communication/contribution.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧
森林保全活動の名称	企業の森づくり事業		
活動場所	山形県天童市		
活動期間	2003～		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、④
掲載ホームページ	http://www.pref.yamagata.jp/ou/seikatsukankyo/050011/midorikannkyou/kigyounomoridukuri/kigyounomori2008.html http://pioneer.jp/environment/communication/contribution.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧

企業名	パタゴニア日本支社		
住所	〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町 1-13-12		
TEL	0467-23-8961	FAX	0467-23-8954
E-mail	customerservice@patagonia.co.jp		
URL	http://www.patagonia.com/japan/		
理念・目的	a,f ・ビジネスを通じて環境問題の解決に向けて影響を与えていくことを経営理念としているため ・希少な森林生態系の保全のため		

森林保全活動の名称	水守人の会		
活動場所	宮城県		
活動期間	2009～		
活動の分類	c,i,k 店頭やホームページ等での当該団体の活動紹介		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://mizumoribito.blog133.fc2.com/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	③、⑥、⑨、⑩
森林保全活動の名称	タイガの森フォーラム		
活動場所	ロシア連邦 沿海州		
活動期間	-		
活動の分類	c 団体運営ノウハウを提供することを目的とする会議への招致、従業員によるボランティア		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://taigaforum.jp/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	③、⑥、⑨、⑩

企業名	株式会社八十二銀行		
住所	〒380-8682 長野県長野市大字中御所字岡田 178 番地 8		
TEL	026-227-1182	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.82bank.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「八十二の森」活動		
活動場所	長野県 4ヶ所(長野市・上田市・松本市・飯田市)		
活動期間	～2012		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.82bank.co.jp/hp/menu000002800/hpg000002793.htm#listno1		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②

企業名	パナソニック株式会社		
住所	〒571-8501 大阪府門真市大字門真 1006 番地		
TEL	06-6908-1121	FAX	-
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	エコナビ搭載家電 1 台で 1 本の植樹を!		
活動場所	国内 世界 30 カ国のエコスクール		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,c,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑥
掲載ホームページ	http://panasonic.jp/econavi/tree/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、⑥、⑧

企業名	パラカ株式会社		
住所	〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9		
TEL	03-6230-2300	FAX	03-6230-2302
E-mail	ir@paraca.co.jp		
URL	http://www.paraca.co.jp/index.html		
理念・目的	a,e		

森林保全活動の名称	社員研修		
活動場所	栃木県矢板市		
活動期間	2007～2010		
活動の分類	a,b,d,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②22 世紀やま・もり再生ネット
掲載ホームページ	http://www.paraca.co.jp/csr/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、④

企業名	株式会社ビーボコーポレーション		
住所	〒188-0011 東京都西東京市田無町 3-5-4		
TEL	042-465-7200	FAX	042-465-7277
E-mail	info@vivo.co.jp		
URL	http://www.vivo.co.jp/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	熱帯雨林再生協力プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国 東カリマンタン州ブキツスハルト		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,c 二次林の樹下植林によるエンリッチメント(植生回復)。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②NPO アジア植林友好協会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	④、⑦

企業名	株式会社日立ハイテクノロジーズ		
住所	〒105-8717 東京都港区西新橋 1-24-14		
TEL	03-3504-7111	FAX	03-3504-7123
E-mail	csr-promotion@nst.hitachi-hitec.com		
URL	http://www.hitachi-hitec.com/		
理念・目的	b,e,f 地球市民として地球温暖化へ貢献するため		

森林保全活動の名称	「日立ハイテクやさとの森」育林活動		
活動場所	茨城県石岡市		
活動期間	2005～2065		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://www.hitachi-hitec.com/about/profile/csr/feature/fea02_02.html#a		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧、⑩地域との交流

企業名	株式会社ファミリーマート		
住所	〒170-6017 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 17F		
TEL	03-3989-7757	FAX	03-5954-5599
E-mail	-		
URL	http://www.family.co.jp/		
理念・目的	a		

森林保全活動の名称	夢の架け橋募金の中で国土緑化推進機構へ寄付		
活動場所	国内 海外		
活動期間	2006～		
活動の分類	i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦社団法人国土緑化推進機構
掲載ホームページ	http://www.family.co.jp/company/eco/action/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	④

森林保全活動の名称	森の聞き書き甲子園		
活動場所	国内		
活動期間	2005～		
活動の分類	1 炭焼きや造林など「森の名人」100 名を、100 名の高校生が訪ね、智恵や技術、人生そのものを聞き書きし、記録する活動。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②NPO 共存の森ネットワーク
掲載ホームページ	http://www.family.co.jp/company/eco/action/koushien.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	④

企業名	株式会社フェリシモ		
住所	〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59		
TEL	078-325-5700	FAX	078-393-3377
E-mail	info@felissimo.co.jp		
URL	http://www.felissimo.co.jp		
理念・目的	a,d,f 顧客参加の社会活動のひとつとしての「フェリシモの森基金」「カタログリサイクル活動」 適正に管理された持続可能な原材料の調達構造構築と天然林消失や違法伐採抑止のためのラオス植林事業への参画 国産材利用促進や森林消滅抑止のための商品の企画販売 ※森基金を発展させ、「フェリシモ森活部」を発足		

森林保全活動の名称	フェリシモの森基金		
活動場所	北海道から沖縄まで 23 都道府県予定 インド他 4 カ国 西ベンガル州、オリッサ州など		
活動期間	1990～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://www.felissimo.info/mori/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①、②、③、④、⑦、⑧

企業名	株式会社フジクラ		
住所	〒135-8512 東京都江東区木場 1-5-1		
TEL	03-5606-1032	FAX	03-5606-1503
E-mail	-		
URL	http://www.forest1000.fujikura.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	ギャザリア・ビオガーデン フジクラ木場千年の森		
活動場所	東京都江東区木場		
活動期間	2010～		
活動の分類	c,l 生物多様性事業		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.forest1000.fujikura.jp/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑩森の町内会
森林保全活動の名称	森の町内会		
活動場所	国内		
活動期間	-		
活動の分類	a,b,c,d		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦森の町内会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑩森の町内会

企業名	富士通グループ		
住所	〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1		
TEL	044-754-3413	FAX	044-754-3326
E-mail	-		
URL	http://jp.fujitsu.com/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	富士通グループの森		
活動場所	全国 11 県		
活動期間	2004～		
活動の分類	a,b,h,j,k,l それぞれの森で異なる活動を行っているため、活動の内容は多岐に渡る。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③
掲載ホームページ	http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/contribution/nature/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧
森林保全活動の名称	熱帯雨林再生活動		
活動場所	タイ王国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア		
活動期間	1998～		
活動の分類	a,b,j,k,l 現在はマレーシアで活動を展開中であるが、熱帯雨林の再生活動のみならず、社員とその家族に向けたエコツアーを実施し、生物多様性の啓発の場として利用している。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/contribution/nature/#a02		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②、⑧

企業名	富士通フロンテック株式会社		
住所	〒206-8555 東京都稲城市矢野口 1776		
TEL	042-377-2614	FAX	042-378-9765
E-mail	umemoto.junetsu@jp.fujitsu.com		
URL	http://www.frontech.fujitsu.com/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	企業参加の森林づくり		
活動場所	群馬県前橋市		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①前橋市、②NPO 法人フォレストぐんま 21
掲載ホームページ	http://www5.wind.ne.jp/npo-fg21/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①
森林保全活動の名称	使用済切手及びプライベートカードの収集/寄付による植林活動支援		
活動場所	国内		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②財団法人緑の地球防衛基金
掲載ホームページ	http://green-earth-japan.net/		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	①

企業名	富士電機ホールディングス株式会社		
住所	〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー		
TEL	03-5435-7258	FAX	03-5435-7454
E-mail	-		
URL	http://www.fujielectric.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「なごみの里」プロジェクト		
活動場所	熊本県玉名郡和水町		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤、⑥
掲載ホームページ	http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/social_action_program/satoyama/detail/index.html		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	①、②、⑧
森林保全活動の名称	「富士電機グループふるさとの森林」		
活動場所	長野県安曇野市烏川		
活動期間	2009～		
活動の分類	b,j		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.fujielectric.co.jp/about/csr/social_action_program/nature/index.html		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	①、②、⑧

企業名	ブラザー工業株式会社		
住所	〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15 番 1 号		
TEL	-	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.brother.co.jp/index.htm		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	「ブラザーの森 郡上」での森林保全活動		
活動場所	岐阜県郡上市		
活動期間	2008～2017		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③
掲載ホームページ	http://www.brother.co.jp/eco/biodiversity/index.htm		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①、②、⑧

企業名	北陸電力株式会社		
住所	〒930-8686 富山県富山市牛島町 15-1		
TEL	076-441-2511	FAX	076-405-0131
E-mail	-		
URL	http://www.rikuden.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	水の恵みをありがとう！森に恩返し活動		
活動場所	富山県、石川県、福井県		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、⑥など
掲載ホームページ	http://www.rikuden.co.jp/kankyo/		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	株式会社 堀場製作所		
住所	〒601-8510 京都府京都市南区吉祥院宮の東町 2		
TEL	-	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.horiba.com/		
理念・目的	b,e		

森林保全活動の名称	京都モデルフォレスト		
活動場所	京都府		
活動期間	2007～		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.kyoto-modelforest.jp/		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	本田技研工業株式会社		
住所	〒107-8556 東京都港区南青山 2-1-1		
TEL	03-5412-1260	FAX	03-5412-1587
E-mail	hp-press@spirit.honda.co.jp		
URL	http://www.honda.co.jp/philanthropy/		
理念・目的	b		

森林保全活動の名称	「水源の森」保全活動		
活動場所	埼玉県寄居市、山梨県小菅村、群馬県みなかみ村・富士見村、三重県亀山市、静岡県浜松市、熊本県大津町、栃木県足尾町		
活動期間	1999～		
活動の分類	a,b,i,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、③
掲載ホームページ	http://www.honda.co.jp/philanthropy/forest/		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	株式会社ミサワホーム		
住所	〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル		
TEL	03-3345-1111	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.misawa.co.jp/		
理念・目的	a,c,d		

森林保全活動の名称	ミサワホーム「木材調達ガイドライン」		
活動場所	フィンランド共和国他		
活動期間	2010～2014		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無		連携機関	
掲載ホームページ	http://www.misawa.co.jp/kodate/seinou/mokusitu/chikyu/shotatsu.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	ボルネオへの恩返しプロジェクト		
活動場所	マレーシア		
活動期間	2009～		
活動の分類	i		
他団体との連携の有無		連携機関	
掲載ホームページ	http://www.misawa.co.jp/misawa/csr/pdf/26.pdf		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	フィンランド工場の植林活動		
活動場所	フィンランド共和国		
活動期間	2009～2010		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無		連携機関	
掲載ホームページ	http://www.misawa.co.jp/misawa/csr/pdf/26.pdf		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	三井住友海上火災保険株式会社		
住所	〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2		
TEL	03-3297-4004	FAX	03-3297-6879
E-mail	kankyokoken@ms-ins.net		
URL	http://www.ms-ins.com		
理念・目的	a,b 当社は紙をたくさん使う企業として、企業の社会的責任として、紙の原料となる木を地球に戻すことが必要との考えで取組んでいる。		

森林保全活動の名称	熱帯林再生プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国 ジョグジャカルタ特別州グヌンキドゥール県パリヤン郡		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,b,j,k,l 2011 年から 近隣農民への農業指導を行い、近隣住民の経済的支援を行う。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④住友林業、⑤ガジャマダ大学森林学部
掲載ホームページ	http://www.ms-ins.com/company/sustainability/environment/raiforest/index.html		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	特に決めていません。信頼できる NGO/NPO が前提

企業名	三井不動産株式会社		
住所	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-1-1		
TEL	03-3246-3063	FAX	03-3246-3167
E-mail	-		
URL	http://www.mitsuifudosan.co.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	植林研修		
活動場所	北海道上川郡美瑛町		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,c,j		
他団体との連携の有無	無	連携機関	-
掲載ホームページ	http://www.mitsuifudosan.co.jp/csr/		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社三越		
住所	〒103-8001 中央区日本橋室町 1-4-1		
TEL	03-3241-1111	FAX	-
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,e,f 生物多様性		

森林保全活動の名称	メリーグリーンクリスマス(チャリティグッズ販売の収益金の寄付)		
活動場所	国内		
活動期間	2008～		
活動の分類	b,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
掲載ホームページ	http://www.greensanta.jp/		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	株式会社ミツバ		
住所	〒376-0122 群馬県桐生市新里町野 598		
TEL	0277-74-2785	FAX	0277-74-2787
E-mail	kankyo@mitsuba.co.jp		
URL	http://www.mitsuba.co.jp/		
理念・目的	b,c,e		

森林保全活動の名称	群馬県 企業参加の森林づくり		
活動場所	(1)群馬県藤岡市鬼石町桜山公園 (2)群馬県桐生市新里工場周辺里山 (3)群馬県桐生市桐生水源の森		
活動期間	(1)2007年7月～2012年3月 (2)2007年9月～2012年9月 (3)2010年4月～2013年3月		
活動の分類	b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://www.mitsuba.co.jp/images/corp/environment/houkoku2009.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	⑧

企業名	三菱商事株式会社		
住所	〒100-8086 東京都千代田区丸の内 2-3-1		
TEL	03-3210-2121	FAX	-
E-mail	mcenv@org.mitsubishicorp.com		
URL	http://www.mitsubishicorp.com		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	熱帯林再生実験プロジェクト、三菱商事千年の森プロジェクト他		
活動場所	宮城県、東京都、神奈川県、高知県、大阪府、広島市 マレーシア、ブラジル連邦共和国、ケニア共和国、中華人民共和国、タイ王国、シンガポール共和国、台湾		
活動期間	1990～		
活動の分類	a,b,c,e,f,i		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑤など
掲載ホームページ	http://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/csr/		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	①

企業名	三菱製紙株式会社		
住所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3丁目4番2号		
TEL	03-3213-3763	FAX	03-3213-3818
E-mail	csr@mpm.co.jp		
URL	-		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	エコシステムアカデミー		
活動場所	福島県西郷村		
活動期間	2010～		
活動の分類	b,c,h,j,k “森のめぐみと自然・産業のコラボレーション”をテーマに森から木を使ったものづくりまでを視野に入れた環境教育などの活動です。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①福島県西郷村、⑦財団法人日本野鳥の会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	②、⑦、⑧、⑨
森林保全活動の名称	「森の町内会」の支援活動		
活動場所	岩手県岩泉町		
活動期間	2006～		
活動の分類	a,b,c,d,f,h,i 間伐を促進するため、NPO「オフィス町内会」による間伐材を使用した紙の生産と販売の仕組みである「森の町内会」活動を支援しています。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①岩手県岩泉町、②オフィス町内会
掲載ホームページ	-		
NGO/NPOとの連携希望	有	活動の種類	②、⑦、⑧、⑨

企業名	三菱 UFJ 信託銀行株式会社		
住所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内 1-4-5		
TEL	03-3212-1211	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://www.tr.mufg.jp/		
理念・目的	a,b,e		

森林保全活動の名称	三菱 UFJ 信託銀行ピーターラビット(R)「未来へつなぐ」森		
活動場所	埼玉県長瀨町		
活動期間	2009～2015		
活動の分類	a,b		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://www.tr.mufg.jp/ippan/csr/shakai.html		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-
森林保全活動の名称	三菱 UFJ 信託銀行「想い」をつなぐ森		
活動場所	高知県大豊町		
活動期間	2007～2013		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①
掲載ホームページ	http://www.tr.mufg.jp/ippan/csr/chiiki_shousai.html#chiiki05		
NGO/NPO との連携希望	-	活動の種類	-

企業名	森永乳業株式会社		
住所	〒108-8384 東京都港区芝 5-33-1		
TEL	03-3798-0960	FAX	03-3798-0103
E-mail	-		
URL	http://www.morinagamilk.co.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	紙パックのリサイクル		
活動場所	全事業所で廃紙パックを回収、リサイクル実施		
活動期間	1992～		
活動の分類	f		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦全国牛乳容器環境協議会、⑦全国牛乳パックの再利用を考える連絡会
掲載ホームページ	http://www.yokankyo.jp/ http://www.packren.org/		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-
森林保全活動の名称	植林		
活動場所	静岡県富士宮市		
活動期間	2007～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦うるおいの森植樹祭
掲載ホームページ	http://www.morinagamilk.co.jp/		
NGO/NPO との連携希望	無	活動の種類	-

企業名	横浜ゴム株式会社		
住所	〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号		
TEL	0463-35-9512	FAX	0463-35-9824
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b,c		

森林保全活動の名称	YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト		
活動場所	三重県、静岡県、愛知県、茨城県、広島県、長野県、神奈川県 中華人民共和国、台湾、フィリピン共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国、ロシア連邦、北米		
活動期間	2000～		
活動の分類	a		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤横浜国立大学宮脇名誉教授
掲載ホームページ	http://www.yrc.co.jp/csr/		
NGO/NPOとの連携希望	無	活動の種類	-

企業名	ライオン株式会社		
住所	〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7		
TEL	03-3621-6211	FAX	-
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,c,e		

森林保全活動の名称	ライオン山梨の森		
活動場所	山梨県山梨市		
活動期間	2006～		
活動の分類	a,b,f,j,k		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①山梨市役所、③山梨県峡東森林組合
掲載ホームページ	http://www.lion.co.jp/ja/csr/social/forest/		
NGO/NPOとの連携希望	-	活動の種類	-

企業名	ルネサス エレクトロニクス株式会社		
住所	〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル		
TEL	03-5201-5111	FAX	-
E-mail	-		
URL	http://japan.renesas.com/		
理念・目的	b,c,e		

森林保全活動の名称	森林再生パートナー制度		
活動場所	神奈川県足柄上郡松田町寄		
活動期間	2005～2015		
活動の分類	b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①神奈川県、②かながわ森林インストラクターの会
掲載ホームページ	http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2010_csr_06.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②かながわ森林インストラクターの会
森林保全活動の名称	協働の森パートナーズ協定		
活動場所	高知県香美市		
活動期間	2007～2012		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①高知県、③香美市・森林組合
掲載ホームページ	http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2010_csr_06.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②かながわ森林インストラクターの会
森林保全活動の名称	環境保全協定		
活動場所	熊本県菊池郡大津町		
活動期間	2005～2015		
活動の分類	a,b,j		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①大津町
掲載ホームページ	http://japan.renesas.com/media/ir/library/pdf/csr/2010_csr_06.pdf		
NGO/NPO との連携希望	有	活動の種類	②かながわ森林インストラクターの会

(2) NGO/NPO

記号凡例

理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> a 森林の減少・劣化の防止に取り組むため b 地域社会に貢献するため c 活動に必要な原材料を持続的に調達するため(企業等の原材料調達の支援も含む) d 環境教育のため e その他
活動の分類	<ul style="list-style-type: none"> a 植林活動(荒廃地への植林、熱帯林の再生、マングローブ植林など) b 育林、森林整備活動(下草刈、間伐など) c 天然林の保全 d コミュニティ林業、社会林業への支援 e トラスト(土地の買い取り)による森林保全 f 企業の原材料調達を通じた森林保全への支援(例:調達方針策定の支援など) g 森林保全に配慮している産業活動への支援(例:森林農法でのコーヒー栽培、エコツアーなど) h 自然環境教育(森林学校など) i 森林の問題に関する調査や普及啓発 j その他
連携機関の種類	<ul style="list-style-type: none"> ①行政団体(国、自治体) ②NGO/NPO ③森林分野の事業体(森林組合など) ④企業 ⑤大学などの研究機関 ⑥小中学校などの教育機関 ⑦その他
企業への期待	<ul style="list-style-type: none"> ①資金面での支援 ②人材・技術面での支援 ③広報面での支援 ④企業社員への地球市民教育 ⑤その他

団体名	特定非営利活動法人アーシャ=アジアの農民と歩む会		
住所	〒324-0028 栃木県大田原市富士見 1-3828-70		
TEL	0287-24-1126	FAX	0287-24-1126
E-mail	asyahonbu@asyaasia.org		
URL	http://ashaasia.org/		
理念・目的	b,d,e 放棄地を利用し、早く大きくなる木を植え、十年くらいで伐採し収入を得る。ニームのような木は日陰を作るため。グアバ、リンゴの植林は栄養補給のため。		

森林保全活動の名称	北インド・ウッタープラデッシュ州における環境保全型緑化推進事業		
活動場所	インド共和国 ウッタープラデッシュ州		
活動期間	2007～2009		
活動の分類	a,d,h		
活動の規模	10 ヘクタール、5,000～8,000 本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	地方自治体や個人の育苗場から苗を買い、ジープで、ときにはトラローを付け運び、原価で村人に販売します。タダで苗をあげると苗を粗末に取り扱います。苗の配布は雨期の期間(7月～10月)に限ります。		
掲載ホームページ	http://ashaasia.org/contents/oversea_tree.htm		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	私どもの NPO 法人「アーシャ」の活動する北インドは、木は薪のため伐採、牛糞を燃料にしています。そのため、有機物を農地に還元することは困難で、土壌は疲弊し農業生産の低下が見られます。雨による表土の流出、また、洪水の原因にも貧困の原因にもなっています。森林保全活動を通し、自然環境保護と自然に対する理解と植林の参加を促し、住民の収入向上、生活環境改善に努めたいと思いますが、会員の数と収入が限られています。企業よりの資金、人材、広報などの提供があれば、協力して一緒に働けると思います。		

団体名	特定非営利活動法人アジア植林友好協会		
住所	〒188-0011 東京都西東京市田無町 3-5-4		
TEL	042-451-6120	FAX	042-465-7241
E-mail	info@agfn.org		
URL	http://www.agfn.org		
理念・目的	a,b ブキットバンキライ保護林の植生回復、バリ島水源涵養林の造成プロジェクト		

森林保全活動の名称	バリ州水源涵養造成プロジェクト(州政府)		
活動場所	インドネシア共和国 バリ州バツン県		
活動期間	2006～		
活動の分類	a(荒廃地への植林)		
活動の規模	対象面積 2,000 ヘクタール、約 200 万本を予定。現在までに約 66 ヘクタール植林。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑦バリ緑化協会(Yayasan Bali Hijau Lestari)
活動の内容や特徴	Yayasan Bali Hijau Lestari の代表が旧知の間柄です。県の森林局長でした。退職後再会し、州政府に働きかけてこのプロジェクトへの参加が決まりました。		
掲載ホームページ	http://www.agfn.org/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、④
企業へのメッセージ	我々が取り組んでいる場所(対象地)は、基本的に地元自治体、公社、国立大学演習林など土地の所有者が明確で、受入れがしっかりしている相手先を選定しています。地球規模の森林劣化は想像を超えるスピードで進んでおり、地球市民としてその保護と再生に取り組むことが求められています。人類社会を構成する一員としてぜひとも積極的に植林に取り組んでいただきたいと思います。我々には約 10 年の経験と実績があり、ノウハウの蓄積がありますのでぜひ一緒に！		

団体名	特定非営利活動法人イカオ・アコ		
住所	〒470-3233 愛知県知多郡美浜町奥田日本福祉大学内		
TEL	0569-87-2319	FAX	0569-87-2319
E-mail	mha01557@nifty.com		
URL	http://www.ikawako.com/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	2015年マングローブ100万本再成計画		
活動場所	フィリピン共和国 ネグロス島、ボホール島		
活動期間	1997～		
活動の分類	a,b,g,h,j フェアトレード		
活動の規模	現在までに60万本のマングローブを植林しました。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、⑤、⑥
活動の内容や特徴	地域の人々と環境に貢献する活動を行っており、年に3～5回の一般や企業向けの「マングローブスタディーツアー」の開催や、個人ツアーの受け入れもしております。		
掲載ホームページ	http://www.ikawako.com/ http://negros.blog48.fc2.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④
企業へのメッセージ	イカオ・アコは、企業様の協賛を募集しています。本業を活かしたご支援、社員の皆様のご活動、ご寄付など様々な形でのご支援を歓迎します。また、ご支援をいただいている企業様に対してはWebサイトやパンフレット、看板などでの広告及び、活動の報告を行わせていただきます。		

団体名	内モンゴル沙漠化防止植林の会		
住所	〒289-3185 千葉県匝瑳市堀川 495-17		
TEL	0479-67-5112	FAX	0479-67-5112
E-mail	sergelen21@gmail.com		
URL	http://www.shokurin.com/		
理念・目的	a,b,d,e 沙漠化防止のための環境林造成等。		

森林保全活動の名称	生態圏家族事業		
活動場所	中華人民共和国 モンゴル自治区		
活動期間	2000～2010		
活動の分類	b,d,h,j 家族の経済的自立を支援すべく、林地作りを支援、管理等を行うことで、現金収入を増やす。		
活動の規模	3,000ヘクタール、450万本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	持ち主が明確な植林地であるべく、植林、管理、収益者を確定している。		
掲載ホームページ	http://jp.mitsuichem.com/csr/society/contribution/environment.htm http://mayorinym.exblog.jp/ http://www.shokurin.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②
企業へのメッセージ	森林保全を通じたCO2削減は、一番自然環境にやさしい効率性の高い方法である。また、コスト面でその他の方法より格段に安く、森林保全を通じて地元住民の生活水準向上に寄与できる。森林保全を通じたCSRは企業からの一方的な善ではなく、CSR活動が企業の戦略的経営の一環でなければならない。NPO,NGOは植林地とのネットワークを構築しており、企業が必要とする経験を持っている場合が多い。企業とNPO,NGOの協同には解決しなければならない問題はあるが、必ずしも難解な問題ではなく、むしろ難易度の低い問題であり、企業は積極的に取り込んでほしい。		

団体名	国際環境 NGO FoE Japan		
住所	〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-8 みらい館 1F		
TEL	03-6907-7217	FAX	03-6907-7219
E-mail	info@foejapan.org		
URL	http://www.foejapan.org/		
理念・目的	a,d,e 気候変動による影響(干ばつや海面上昇)への適応対策のため。		

森林保全活動の名称	アグロフォレストリープロジェクト・マングローブ再生プロジェクト(インドネシア気候変動適応プロジェクト)		
活動場所	インドネシア共和国 中部ジャワ州スマラン		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,g,i		
活動の規模	マングローブ植林:50,000本(2009年度)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①スマラン県、スマラン市、⑤ディポネゴロ大学、⑦BINTARI財団
活動の内容や特徴	インドネシアで、気候変動対策としてマングローブ再生とアグロフォレストリーを支援。現地コミュニティが気候変動影響へ適応する必要性を理解し、能力を向上した上で主体的な対策を進めることを目指す。		
掲載ホームページ	http://www.foejapan.org/aid/community/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④、⑤業務を通じての消費者への教育と参加の促進
企業へのメッセージ	FoE Japan では、これまで多くの個人・ボランティアに支えられ活動をしてきましたが、一層の活動拡大を実現するため企業との連携を図りたいと願っています。資金面での支援だけでなく、企業と連携することによって、環境問題を知るきっかけを多くの人に持っていただけると期待しています。これまで NGO 単体では届かなかった人にも、商品やサービスを通じて当団体の取り組みを知っていただき、関心を持っていただけたら幸いです。社員向けのエコツアーやセミナーもご相談ください。		
森林保全活動の名称	コミュニティ林業への支援		
活動場所	インドネシア共和国 ジョグジャカルタ特別州グヌンキドゥル県		
活動期間	2008～		
活動の分類	d,j 活動は d)に該当。しかし具体的な内容としては、コミュニティ林業による生産材の市場化支援。		
活動の規模	対象としている 3 村(ダウンゴック、ギリスカール、クドゥンクリス)において LEI 認証を取得している。面積は 815 ヘクタール。認証エリア内の樹種と本数は、チーク 38,235 本、マホガニー 6,815 本、アカシア 4,336 本、その他 9,726 本、総数 59,112 本。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	すでに当地の複数の NGO の連携によって植林活動、住民組織化、能力向上、生計向上など、様々な活動が取組まれている地域に唯一欠けていて、外部者のみ可能な活動、それがコミュニティで生産された木材のマーケティング支援である。この視点に立ち、日本市場へ同材を紹介し、ポテンシャルバイヤーと地域住民との対話を促進し、ワークショップを重ねることで、地域住民の「市場性」や「経営感覚」を養うことを目指す。		
掲載ホームページ	http://www.foejapan.org/forest/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④、⑤業務を通じての消費者への教育と参加の促進
企業へのメッセージ	FoE Japan では、これまで多くの個人・ボランティアに支えられ活動をしてきましたが、一層の活動拡大を実現するため企業との連携を図りたいと願っています。資金面での支援だけでなく、企業と連携することによって、環境問題を知るきっかけを多くの人に持っていただけると期待しています。これまで NGO 単体では届かなかった人にも、商品やサービスを通じて当団体の取り組みを知っていただき、関心を持っていただけたら幸いです。社員向けのエコツアーやセミナーもご相談ください。		

団体名	財団法人オイスカ		
住所	〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-17-5		
TEL	03-3322-5161	FAX	03-3324-7111
E-mail	oisca@oisca.org		
URL	http://www.oisca.org/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	“海の森”マングローブ植林プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国、フィリピン共和国、タイ王国、フィジー諸島共和国 -		
活動期間	1995～		
活動の分類	a,b,d,h		
活動の規模	対象面積:累計 3,800 ヘクタール、植林本数:推定 1,030 万本(面積ベースでプロジェクト管理をしているため、本数は推計値)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、③、④、⑤、⑥、⑦当プロジェクトのために組織した地域住民主体の植林グループ
活動の内容や特徴	マングローブ林の再生は、胎生種子、あるいは苗木を植林後、最低でも 3～5 年は数ヶ月に一度の管理作業が必要となります。また、再び伐採などにより消失しないためにも地域住民が主体となったプロジェクトを形成していく必要があり、非常に時間をかけたきめ細やかな支援が必要になります。当団体は 50 年に渡って当該各国において人材育成活動を行ってきた事から、それらの人材が中心となって植林グループを組織し、持続的な活動を実現しています。現在、企業から複数年にわたって包括的なプロジェクト経費の資金協力をいただき、この活動を推進しています。		
掲載ホームページ	http://www.oisca.org/project/indonesia/index.html#in5		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④、⑤社員植林ボランティア
企業へのメッセージ	当団体は約 50 年にわたり 26 の国と地域で活動を展開してきましたが、これまでに多くの企業・団体様からのご支援・ご協力に支えられてきました。特に近年、環境問題の深刻化、気候変動の進行に伴って、CSR 活動の一環として社をあげての協働をいただくケースも増えてきました。森林保全活動は、その地域で実施する人材の育成・体制づくりが最も重要な要素となります。そのことから、植林自体の活動資金協力はもちろんのこと、社員の現地派遣や研修活動へのご協力など、さまざまなかたちでのご支援をお願いしております。私どもが活動を実施する各地域では、森林伐採に起因する水資源の枯渇、生物多様性の劣化、海水位の上昇による村の水没、気候変動による自然災害など、日々深刻化する環境問題が次々に報告されています。今まで当団体が行ってきた人材育成事業で培った世界各地の人材やグローバルネットワークを活かし、引き続き環境保全活動や人材育成、地域開発援助を推進して参りたいと考えております。“ゴーイング・コンサーン”を実現する持続可能な社会の構築のため、ご支援・ご協力をお願い致します。		

森林保全活動の名称	「子供の森」計画		
活動場所	バングラデシュ人民共和国、カンボジア王国、インド共和国、インドネシア共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、フィリピン共和国、スリランカ民主社会主義共和国、タイ王国、フィジー諸島共和国、パプアニューギニア独立国など 26 カ国 -		
活動期間	1991～		
活動の分類	a,b,h,i 植林・育林技術の教育、育苗やコンポスト作成手法・有機農法等の自然との共生手法の複合的教育、学校の教育支援（学用品や施設の支援）		
活動の規模	各国累計の総計：植林面積：約 3,780 ヘクタール、植林本数：約 620 万本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、④、⑤、⑥
活動の内容や特徴	子どもたちが自分たちの学校の敷地や近隣地で行う植林・育林活動を支援しています。子どもたちの植林活動支援と併せて体験学習を重視した環境教育に力を入れ、子どもたちの地球や地域の緑を愛する心を同時に育てています。また子ども・学校を活動の基軸とすることにより地域社会への意識啓発・普及活動も行っています。オイスカが約半世紀の時間をかけて育ててきた地域の人材や活動のノウハウ、グローバルネットワークを活かした、より地域のニーズに合った、地元に基づく活動の支援を目指しています。		
掲載ホームページ	http://www.oisca.org/project/cfp/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④、⑤社員植林ボランティア
企業へのメッセージ	当団体は約 50 年にわたり 26 の国と地域で活動を展開してきましたが、これまでに多くの企業・団体様からのご支援・ご協力に支えられてきました。特に近年、環境問題の深刻化、気候変動の進行に伴って、CSR 活動の一環として社をあげての協働をいただくケースも増えてきました。森林保全活動は、その地域で実施する人材の育成・体制づくりが最も重要な要素となります。そのことから、植林自体の活動資金協力はもちろんのこと、社員の現地派遣や研修活動へのご協力など、さまざまなかたちでのご支援をお願いしております。私どもが活動を実施する各地域では、森林伐採に起因する水資源の枯渇、生物多様性の劣化、海水位の上昇による村の水没、気候変動による自然災害など、日々深刻化する環境問題が次々に報告されています。今まで当団体が行ってきた人材育成事業で培った世界各地の人材やグローバルネットワークを活かし、引き続き環境保全活動や人材育成、地域開発援助を推進して参りたいと考えております。“ゴーイング・コンサーン”を実現する持続可能な社会の構築のため、ご支援・ご協力をお願い致します。		

団体名	特定非営利活動法人環境修復保全機構		
住所	〒195-0064 東京都町田市小野路町 2987-1		
TEL	042-736-8972	FAX	042-736-8972
E-mail	hq-erecon@nifty.com		
URL	http://www.erecon.jp		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	森林再生による環境修復と持続的農業生産環境(有機農業)の構築		
活動場所	タイ王国 ナン県		
活動期間	2007～2011		
活動の分類	a,d,j アグロフォレストリーを軸とした有機農業の推進。		
活動の規模	植林地合計面積 10 ヘクタール、植林樹木数 22,400 本(2010 年現在)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	活動地では森林伐採や火入れによる森林開発が盛んであり、特に近年、豪雨によって斜面崩壊や崩落などの土砂災害が頻発化している。また森林を開墾して造成された傾斜畑では、開畑後数年以内で肥沃度が低下して放棄される事例が多い。この開畑後における肥沃度の急激な低下は、主に雨季に発生する降雨強度の高い豪雨による有機物を多く含む表土の流亡に起因している。さらに農地では収穫後の作物残渣への火入れが盛んに行われるとともに、化学肥料や農薬が多量に施用されており、農地が下流域に対する面的汚濁源として位置づけされている。そこで、現地農家による自主的な森林再生と有機農業を軸とした持続的農業生産環境の構築に向けて支援している。		
掲載ホームページ	http://www.yu-cho-f.jp/international/ngo_report.html		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、⑤協働での植林活動等
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人草炭緑化協会		
住所	〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町 33 ドムール早稲田 101		
TEL	03-3205-4044	FAX	03-3205-4044
E-mail	peat-society.jp@nifty.com		
URL	http://homepage2.nifty.com/soutan-jp/		
理念・目的	e 降雨量 200mm のトング沙漠地帯で灌木植林(甘粛省武威市古浪県)		

森林保全活動の名称	特になし		
活動場所	中華人民共和国 甘粛省武威市		
活動期間	2000～2010		
活動の分類	a		
活動の規模	助成金によるが、ここ 2 年～3 年は約 80 ヘクタールで 20 万本。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①古浪県馬路灘林場総場
活動の内容や特徴	降雨量 200mm で通常の 400mm より少し沙漠地帯での植林。このため喬木は無理で、自生している灌木を植林している。		
掲載ホームページ	http://homepage2.nifty.com/soutan-jp/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②
企業へのメッセージ	直接の効果はなくても、広く社会貢献活動の一つとして支援をお願いする。		

団体名	国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン		
住所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-13-11NF ビル 2 階		
TEL	03-5338-9800	FAX	03-5338-9817
E-mail	-		
URL	http://www.greenpeace.or.jp/		
理念・目的	a		

森林保全活動の名称	森林キャンペーン		
活動場所	おもにインドネシア共和国、アマゾン・コンゴの熱帯雨林など -		
活動期間	-		
活動の分類	c,f,i		
活動の規模	インドネシア、アマゾン、コンゴの天然林全域		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②など適宜
活動の内容や特徴	詳細な現地調査を基に、森林のある現地政府に保護を訴えると同時に、森林破壊を直接行っている企業、また消費などを通して結果的に森林破壊に加担している企業に世界的な規模で働きかけをおこなっています。生物多様性の保護と気候変動についての観点からも森林保護を進めています。国際的にビジネスを展開するいくつもの企業が、地球環境とより持続可能なビジネスのために、すでに方針転換を始めています。		
掲載ホームページ	http://www.greenpeace.or.jp/campaign/forests/ http://www.greenpeace.org/international/en/campaigns/forests/		
企業との連携希望	有	企業に期待	③
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人黄土高原環境・緑化計画		
住所	〒311-4145 茨城県水戸市双葉台 2 丁目 31-1		
TEL	029-254-2458	FAX	029-254-2458
E-mail	sig-y.s@mx2.ttcn.ne.jp		
URL	http://homepage2.nifty.com/npo_gpotlp_shont2005/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	中学校付属農場再整備及び周辺沙漠の緑化		
活動場所	中華人民共和国 寧夏回族自治区		
活動期間	2005～2010		
活動の分類	a		
活動の規模	農場再整備面積 20 ヘクタール、経済林植林本数 17,300 本、防風林等植樹本数 66,260 本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①寧夏回族自治区塩池県林業局、高沙窩鎮
活動の内容や特徴	中学校の所有する荒廃した研修農場の再整備事業。井戸等のインフラを再整備し、経済林、防風林等を植樹した後牧草を栽培し、羊 100 匹を飼育している。		
掲載ホームページ	http://homepage2.nifty.com/npo_gpotlp_shont2005/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②
企業へのメッセージ	企業活動で排出する二酸化炭素に見合うだけの緑化を期待する。(国内外を問わず)		

団体名	国際炭やき協力会		
住所	〒205-0015 東京都羽村市 4-2-16-305		
TEL	042-555-9514	FAX	042-555-9514
E-mail	info@sumiyaki.jp		
URL	http://www.sumiyaki.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	インドネシア、西カリマンタン州の劣化森林の回復		
活動場所	インドネシア共和国 西カリマンタン州		
活動期間	1995～2008		
活動の分類	a		
活動の規模	共有林、学校敷地などに 2～10 ヘクタール。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	現地コミュニティ、NGOが中心となり、日本から応援に10名程度参加する。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	⑤定期的訪問、現状を知ってもらう
企業へのメッセージ	-		

団体名	国際マングローブ生態系協会		
住所	〒309-0129 沖縄県西原町千原 1 番地琉球大学農学部内		
TEL	098-895-6601	FAX	098-895-6602
E-mail	isme@mangrove.or.jp		
URL	http://www.mangrove.or.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	マングローブ林の保全と再生		
活動場所	インド共和国 -		
活動期間	2009～		
活動の分類	a		
活動の規模	インド、年間 80 ヘクタール、80 万本 (マングローブ)		
他団体との連携の有無	-	連携機関	
活動の内容や特徴	マングローブ (ヒルギダマン) の植林活動。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	海外のマングローブ林の保全・再生に十分な資金がありません。資金を助成してください。		
森林保全活動の名称	マングローブ林の保全と再生		
活動場所	キリバス共和国、ツバル -		
活動期間	2005～		
活動の分類	a,d,h		
活動の規模	キリバス、年間 0.1 ヘクタール、3,000 本 (マングローブ) ツバル、年間 0.1 ヘクタール、1,000 本 (マングローブ)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	マングローブの植林活動。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	海外のマングローブ林の保全・再生に十分な資金がありません。資金を助成してください。		

団体名	コンサベーション・インターナショナル・ジャパン		
住所	〒163-1339 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー39 階		
TEL	03-6911-6640	FAX	03-6911-5599
E-mail	ci-japan@conservation.org		
URL	www.conservation.or.jp		
理念・目的	a,b,e 森林保全がもたらす生態系の保全は、長期的な視点から気候変動問題における適応策(Ecosystem based Adaptation)ともなり得る。生物多様性の保全や持続可能な開発への貢献等への相乗効果を発揮するような森林保全活動の計画を重視している。		

森林保全活動の名称	「グリーン・ウォール」の創生 グヌングデ・パングランゴ国立公園 住民参加型森林再生プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国 ジャワ島		
活動期間	2008～2011		
活動の分類	a,d,g,h,i,j 生物多様性調査、社会経済調査		
活動の規模	3年間で200ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①森林省、地元自治体等、②、③本プロジェクトで設立した農家グループ④ダイキン工業、⑦専門家を含むコンソーシアム
活動の内容や特徴	地域の人々と共に荒廃した土地に森林を再生し、ジャワ島に残された貴重な森林を守る「グリーン・ウォール」を形成するプロジェクトです。植林活動だけでなく、アグロフォレストリーやエコツーリズムによる代替生計の創出や地元小中学生への環境教育も行い、自然と調和した地域の人々の生活と持続的で自立的な森林保全を目指しています。森林再生と森林保全は、気候変動の緩和、固有種の生息地保全のみならず、水源地として気候変動への適応面でも重要な役割を果たします。		
掲載ホームページ	http://www.conservation.org/sites/japan/fmg/articles/Pages/greenwall.aspx http://www.daikinaircon.com/eco/		
企業との連携希望	有	企業に期待	⑤資金提供に留まらず、森林保全の持つ意義と重要性を日本国内において普及・啓発すること。
企業へのメッセージ	国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP16)では、途上国における森林減少と劣化に由来する排出の削減(REDD+)が、2012年以降の新規枠組みとして正式に採択されました。森林減少による排出は全世界の温室効果ガスの年間排出量のおよそ15%に相当しますが、気候変動対策としての新たなメカニズムのみならず、REDD+のもたらし得る様々な相乗効果にも着目する必要があります。COP16の議論において、途上国側が最も積極的に発言し、進展を願ったのもREDD+でした。採択された文書では、途上国における森林減少と劣化に由来する排出の削減に加え、森林炭素貯蔵量の保全、持続可能な森林経営、森林炭素貯蔵量の増加が主な活動として定義されています。これらの活動は、途上国においては森林伐採に代わる生計支援策を実施し、地元コミュニティや政府との連携において実施していくことが大前提となります。また、そのような森林保全活動が「負の影響」を生み出さないように、生物多様性の保全や地域社会への配慮を実施して行われることが大変重要です。そのためには、地元住民と長期にわたり、同じ言語や文化を理解しながら支援を実施することのできるNGOとの連携がますます重要となります。概して日本企業は、環境への貢献として植林活動に取り組み、「何本の木を植えた」等、分かりやすいコミュニケーションを追い求めがちでした。今後は森林保全にも貢献し、森林保全が今後の地球にもたらす様々な効果を、企業力により日本国内で普及・啓発していくことが求められています。ちなみに、海外における森林保全およびREDD+への注目度は大変高く、多くの政府、海外企業も支援を実施しています。新たな気候変動対策として、日本が遅れをとらないためにも、早期の検討が必要です。		

森林保全活動の名称	フィリピン・ペニャブランカ持続可能な森林再生プロジェクト		
活動場所	フィリピン共和国 カガヤン州 ペニャブランカ町(ペニャブランカ自然保護区内)		
活動期間	2007～2013		
活動の分類	a,c,d,i		
活動の規模	アグロフォレストリーはマンゴーが中心。10m間隔に植栽。プロジェクト対象地 2943 ヘクタール(再植林・補植、アグロフォレストリー、森林保全)再植林地では 3m間隔、補植地では 5m間隔で自生樹木種の苗木を植栽。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①フィリピン環境天然資源省、ペニャブランカ町、CI、④トヨタ自動車
活動の内容や特徴	<p>・植林活動により森林再生を図るとともに、マンゴーを中心としたアグロフォレストリーによりコミュニティの収入源の拡大・多様化する。マンゴー収益の一部をプロジェクトの植林基金に還元し、植林地の維持管理と植林の拡大、マイクロファイナンスの財源など、外部の支援が終了する2013年以降も生物多様性面とコミュニティ面の効果が持続できる仕組みの構築を進めている。</p> <p>・CCB スタンダードのゴールドレベル認証を取得(2009年12月)</p>		
掲載ホームページ	http://www.climate-standards.org/projects/files/cagayan/CCB-PDD-PPSRP_ver_Dec8.pdf http://www.conservation.org/sites/japan/fmg/articles/Pages/penablanca2010AUG.aspx		
企業との連携希望	有	企業に期待	⑤資金提供に留まらず、森林保全の持つ意義と重要性を日本国内において普及・啓発すること。
企業へのメッセージ	<p>国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP16)では、途上国における森林減少と劣化に由来する排出の削減(REDD+)が、2012年以降の新規枠組みとして正式に採択されました。森林減少による排出は全世界の温室効果ガスの年間排出量のおよそ15%に相当しますが、気候変動対策としての新たなメカニズムのみならず、REDD+のもたらし得る様々な相乗効果にも着目する必要があります。COP16の議論において、途上国側が最も積極的に発言し、進展を願ったのも REDD+でした。採択された文書では、途上国における森林減少と劣化に由来する排出の削減に加え、森林炭素貯蔵量の保全、持続可能な森林経営、森林炭素貯蔵量の増加が主な活動として定義されています。これらの活動は、途上国においては森林伐採に代わる生計支援策を実施し、地元コミュニティや政府との連携において実施していくことが大前提となります。また、そのような森林保全活動が「負の影響」を生み出さないように、生物多様性の保全や地域社会への配慮を実施して行われることが大変重要です。そのためには、地元住民と長期にわたり、同じ言語や文化を理解しながら支援を実施することのできる NGO との連携がますます重要となります。概して日本企業は、環境への貢献として植林活動に取り組み、「何本の木を植えた」等、分かりやすいコミュニケーションを追い求めがちでした。今後は森林保全にも貢献し、森林保全が今後の地球にもたらす様々な効果を、企業力により日本国内で普及・啓発していくことが求められています。ちなみに、海外における森林保全および REDD+への注目度は大変高く、多くの政府、海外企業も支援を実施しています。新たな気候変動対策として、日本が遅れをとらないためにも、早期の検討が必要です。</p>		

団体名	サパ＝西アフリカの人たちを支援する会		
住所	〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-7-3 半蔵門ウッドフィールド 3F		
TEL	03-3237-7022	FAX	03-6411-4040
E-mail	westafrica@npo-supra.com		
URL	http://www.npo-supra.com/		
理念・目的	a,b,e 1988 年より西アフリカで「森造り」「土作り」を行っており、森造りはダム造り（水を貯水）であることを地域住民に啓発、7 年間に 250ha の植林を実施。この手法は独自に開発「サパ方式」として評価されている。「緑の地球」92 号に紹介されている。		

森林保全活動の名称	熱帯林の再生活動		
活動場所	ギニア共和国、ギニアビサウ共和国 キンディア県、バファタ県		
活動期間	1998～2010		
活動の分類	a,j 現在まで西アフリカの 2 カ国で森林再生活動を実施しているが、単なる再生でなく新植栽（食糧不足を緩和するための早生結実樹種）と旧熱帯林の残存根系からの萌芽（ヒコバエ）を混生育成している。		
活動の規模	森林再生面積合計ギニア 250 ヘクタール、ギニアビサウ 10 ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	既に上述した通り。森林再生に 10 年間の試行で「サパ方式」を編み出した。食糧不足を緩和すると共に、樹木の育成促進に役立っている。		
掲載ホームページ	http://www.npo-supra.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	④
企業へのメッセージ	筆者は元農林関係の企業マンとして、約 35 年間東南アジア、アフリカにやってきた。この間培った技術をベースに森林の再生に携わっている。中でもアフリカでは森の有難さが教育されておらず、森を伐って金に変えることに政府も住民も熱中した為、森が消失した。と同時に水不足を引き起こした。「森造りはダム造り」であることを認識している企業は少ない。弊会は森林保全を要する森林そのものが、消失しつつあるアフリカでは森林保全のみでなく「森林再生」に重点を置くことで、貯水機能を有した森は周辺の農地の灌水にも役立ち、農業振興にもつながると確信している。保全すべき森林が少ない地域の振興は森林再生しかない。我々はこの考えで活動している。		

団体名	特定非営利活動法人サヘルの森		
住所	〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3-403 エコプラン内		
TEL	042-721-1601	FAX	042-721-1704
E-mail	sahel-no-mori@jca.apc.org		
URL	http://www.jca.apc.org/sahel-no-mori/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	地域での苗木づくり支援と生活のための森づくり支援		
活動場所	マリ共和国 トンブクトゥ州、モブチ州、セグー州、クリコロ州		
活動期間	1987～2010		
活動の分類	a,d		
活動の規模	2009 年 1～12 月で約 17,900 本の苗木を植林、配布した。2010 年 5～7 月に村・地域・学校等などへ計 78 ヶ所（試験地植林含む）、10,363 本を配布、植林した。7～12 月にかけては、次のスタッフが継続中。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	日本人スタッフが村々を訪ね、苗木を配り、その後も訪問して、村人が中心の小規模多拠点方式による植林活動、苗木配布、荒廃地試験植林など、村人の暮らしの安定のために、自立支援協力を行っています。また、地域での苗木づくりをする小さな苗木生産者の支援、村や学校をまわっての植林ワークショップ、薪炭林づくりの植林などを継続中です。		
掲載ホームページ	http://www.jca.apc.org/sahel-no-mori/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	-		

団体名	サラワク・キャンペーン委員会		
住所	〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 5F ジュマ・ネット気付		
TEL	03-3655-1245	FAX	-
E-mail	scc@kiwi.ne.jp		
URL	http://www.kiwi-us.com/~scc//		
理念・目的	a,b,e 世界各地の森林や環境が破壊されて住民の生活が不当に侵されている状況と、日本に暮らす私たちの生活とは実はつながっているという現実を直視し続けたい。日本に大量の丸太や合板、そしてパームオイルを供給してきたマレーシア・サラワク州の森はその典型であり、その現地情報を日本に伝え続けることは、森林の保全にもつながると考えている。		

森林保全活動の名称	森に暮らす先住民族の歴史聞き取り調査(オーラル・ヒストリー)プロジェクト		
活動場所	マレーシア サラワク州		
活動期間	2003～2011		
活動の分類	i		
活動の規模			
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑦コミュニティ
活動の内容や特徴	当会では、木を植えるなど具体的な森林保全活動は行っていないが、森に暮らしてきた先住民族の先住慣習権が擁護されるよう、彼ら彼女らの森での暮らしの歴史を記録に残し、また、森林破壊とプランテーション開発について調査し、現状を広く伝えるべく活動している。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人世界の砂漠を緑で包む会		
住所	〒921-8015 石川県金沢市東力 2 丁目 100 番		
TEL	076-287-0389	FAX	076-287-0389
E-mail	tutumkai@vmail.plala.or.jp		
URL	http://www8.plala.or.jp/tutumkai		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	内モンゴル阿拉善砂漠緑化及び貧困遊牧民支援事業、天津大港区防砂・防風林植林事業		
活動場所	中華人民共和国 モンゴル阿拉善盟、天津市大港区		
活動期間	2003～		
活動の分類	a,h,i		
活動の規模	植林:約 180 万本、面積:約 1,700 ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①阿拉善盟政府、阿拉善黄河経済文化促進協議会、天津市林業局、中国緑化基金会
活動の内容や特徴	阿拉善盟:貧困遊牧民生活支援事業。植林した木に実がなり、種となり、その種を採取し政府に売る。砂漠緑化は、耐乾性、耐寒性、耐塩性の植物で、その地域に自生していた植物を、混栽し草原の再生を図る。天津:耐塩性の植物。		
掲載ホームページ	http://www8.plala.or.jp/tutumkai/enkakutososhiki.htm		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	森林保全活動に感心のある企業でなくとも、経営理念や経営指針に貢献を謳っているであろうから、単に掲げるだけでなく、行動に移すことが大事である。		

団体名	タンザニア・ポレボレクラブ		
住所	〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 1-28-15 サンライトハイツ 301		
TEL	03-3439-4847	FAX	03-3439-4847
E-mail	pole2club@hotmail.com		
URL	http://polepoleclub.web.infoseek.co.jp/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	村落植林事業		
活動場所	タンザニア連合共和国 キリマンジャロ州		
活動期間	1997～		
活動の分類	a,b		
活動の規模	10 ヘクタール・1 万 5 千本/年		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	タンザニアにおいて地域住民と協力しながら、人々が環境の荒廃を招くことなく、平和で安心して暮らしていける社会を築くため、村落をベースとした植林活動に取り組んでいる。またその活動の自立支援、環境と生活は車の両輪との考えから、生活改善に取り組んでいる。		
掲載ホームページ	http://polepoleclub.web.infoseek.co.jp/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、⑤
企業へのメッセージ	森林保全活動では「環境」や「植林」といった分野、活動がイメージされがちですが、「地域社会」「人」「生活」といった要素と切り離すことが出来ません。面積や植林本数だけでない部分にも、ぜひ目を向けていただけたらと思います。		

団体名	特定非営利活動法人地域国際活動研究センター		
住所	〒461-0022 名古屋市東区東大曾根町 40-6		
TEL	052-935-7126	FAX	052-935-7126
E-mail	sugi@cdic.jp		
URL	http://www.cdic.jp/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	東ティモール・リキサ県 マウメタ村ナルトゥト地区における植林による環境保全プロジェクト		
活動場所	東ティモール民主共和国 リキサ県 マウメタ村ナルトゥト地区		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	a,b		
活動の規模	植林数は 1,500 本、植え付け面積は 1.5 ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②Firma Buras
活動の内容や特徴	菩提樹など水資源の確保のために有用な樹木を水源付近に植えて、住民の生活にもっとも必要な水源を守る。また、地盤の安定化に有用な草木を禿山に近い状態の山に植えることより、土砂災害を防ぐことを優先した活動をしている。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③
企業へのメッセージ	インドネシア占領時代、東ティモールではインドネシア軍が山間部でのゲリラ活動防止の名目で多くの樹木を伐採してしまいました。独立後は経済困難な住民が増えると共に薪用に木を伐採する傾向が強まっています。私たちが植林をしているナルトゥト地区もさまざまな原因から水源林が減り、水源が脅かされています。そのため、私たちの団体は 2008 年から東ティモールの水源地で植林活動を行っています。植林は短期間での成果を望むことはできません。しかし、木を植え、それを管理していく経験を重ねることで、村人が自ら考え、行動し長い目で見て彼らの生活が豊かになることを望んでいます。また、今後は村人の意識改革を視野に入れ環境教育にも力を入れたいと考えています。これまでに企業の方との活動は行ったことはありませんが、もし機会がありましたら第三世界の緑のために協力していただけたら幸いです。		

団体名	認定 NPO 法人地球市民の会		
住所	〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町 3-10		
TEL	0952-24-3334	FAX	0952-26-4922
E-mail	office@tpa.nk-i.net		
URL	http://tpa.nk-i.net/		
理念・目的	a,e 森と共生する持続的な生活を実現するため。湖の富栄養化や湖底への土砂体積による環境変化による生態系維持のため。		

森林保全活動の名称	森と共生する入植モデル村建設		
活動場所	ミャンマー連邦共和国 南シャン州、チャウタロン TS		
活動期間	2005～2010		
活動の分類	a		
活動の規模	約 9.6 エーカー		
他団体との連携の有無	無	連携機関	
活動の内容や特徴	荒地に小作農民の入植をするために、農業と薪用の木として生活に役立つことを前提に、森と人が共生できることをデザインした植林を実施した。高田研一先生のランダム自然配植技術を基本に植樹した点が特徴である。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	-		
森林保全活動の名称	森林と共生するコーヒー園作り		
活動場所	ミャンマー連邦共和国 南シャン州、ニャウンシュエ TS、チャウタロン TS		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	g		
活動の規模	0.8 エーカー		
他団体との連携の有無	無	連携機関	
活動の内容や特徴	-		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	-		
森林保全活動の名称	保育園を維持するためのアグロフォレストリー		
活動場所	ミャンマー連邦共和国 南シャン州、チャウタロン TS		
活動期間	2009～2009		
活動の分類	g		
活動の規模	2 エーカー		
他団体との連携の有無	無	連携機関	
活動の内容や特徴	-		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	-		
森林保全活動の名称	インレー湖の保全のための植林活動		
活動場所	ミャンマー連邦共和国 南シャン州、ニャウンシュエ TS		
活動期間	2011～2011		
活動の分類	a		
活動の規模	これから実施予定		
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	6村において、宮脇方式で持続可能な薪炭林を実施。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人地球の緑を育てる会		
住所	〒350-0247 埼玉県坂戸市西坂戸 5-37-6		
TEL	049-286-9453	FAX	049-286-9453
E-mail	office@greenglobe.jp		
URL	http://www.greenglobe.jp/		
理念・目的	a,b,d 大気中の炭素固定の促進、生物多様性の保護、沙漠化防止		

森林保全活動の名称	アンダの森の育林に参加、バヤンムレン緑化活動に参加、筑波山水源の森づくり		
活動場所	中華人民共和国 内 蒙 古		
活動期間	2004～2010		
活動の分類	a,b		
活動の規模	漠地の内 蒙 古では 20 万本。筑波山では 2 万本。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	25 団体
活動の内容や特徴	内 蒙 古では沙漠化防止、筑波山などでは森林整備と育林を行っている。		
掲載ホームページ	http://www.greenglobe.jp/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②
企業へのメッセージ	森林保全は生命の保全へのプロセスであり、企業の森林整備参加は、社会貢献としてのこれからの義務ではないでしょうか。		

団体名	地球の友と歩む会/LIFE		
住所	〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-2-2 東京三和ビル 501 号		
TEL	03-3261-7855	FAX	03-3261-9053
E-mail	life@earth.email.ne.jp		
URL	http://www.ne.jp/asahi/life/home/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	アグロフォレストリー、農業復興をめざした植林		
活動場所	インド共和国、インドネシア共和国 タミルナンドゥ州・ニラコタイ、東ヌサトンガラ州 スンバ		
活動期間	1992～		
活動の分類	a		
活動の規模	100 ヘクタール:50 万本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②
活動の内容や特徴	インド、インドネシア両国とも治水能力強化、農業基盤整備をめざした森林保全と住民を対象とした環境保全の研修を中心に実施している。また、有機農業推進と併せて森林保全活動と技能修得のための研修を実施している。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	無	企業に期待	-
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人地球緑化の会		
住所	〒862-0911 熊本県熊本市健軍 1 丁目 3-10		
TEL	096-369-9110	FAX	096-365-6461
E-mail	-		
URL	-		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	タンザニア、ドドマ市周辺での村落造成		
活動場所	タンザニア連合共和国 ドドマ市		
活動期間	1992～2010		
活動の分類	a,d,i アグロフォレストリーを中心にしたモデル農場の運営。		
活動の規模	ドドマ市及び近郊のヌズグニ村など 6 市村で、毎年 10 万本以上の植行を行っている。面積については、個人所有畑に植えているケースが殆んどで不明。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②首都開発公団(国際 NGO として登録されている)
活動の内容や特徴	6 つの市、村に結成されている植林グループ(20 をこえる)ごとに、育苗場(ナーサリー)をつくり運営している。植栽した苗を 1 年毎に、本会の現地支部スタッフとグループメンバーが生存を確認(カウント)して、その数に応じて労務費を支払う。		
掲載ホームページ	http://www.egaj-jp.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	タンザニアでの永年に亘る経験から言えば、どうしても貧困と密接に関連しているため、木を植えるだけでは問題は解決しません。如何にして、植林と収入向上が持続的に関連しながら継続していくかが鍵になりますので、単発的な支援ではなく、少なくとも 5 年間位の長期的なスタンスで取り組んでいただきたいと考えています。樹種については、現地の人々の食料か燃料、生活資材(例:石けんの材料)となるようなものがベターであり、日本側で決定するのではなくあくまでも現地の生活レベル、生活の質をベースにおいて選択してほしいと思います。ドドマには、最近大学が出現し日本語学科も出ていますので、スワヒリ語圏との戦略的な関わりというスタンスからの取り組みも検討されたら如何でしょうか。とても親日的な人が多く、治安も他のアフリカ諸国に比べたら安定している方だと言えます。		
森林保全活動の名称	モンゴル国ダルハン市(ハラ川沿)地域植林支援事業		
活動場所	モンゴル国 ダルハン市		
活動期間	2008～2010		
活動の分類	a 植林活動、育林活動の支援。		
活動の規模	現状 3 ヘクタール、潜在的には 10 ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑤ダルハン環境研究センター(大学の学生達が中心の組織)
活動の内容や特徴	4 年の助走期間を経て、個別の団体と協力関係を結び、その団体を資金面で小額ですが助成するという事での植林支援を行っています。カウンターパートが元来が小さな組織であり、小額と言っても効果はあります。		
掲載ホームページ	http://www.egaj-jp.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	3 年前からは、国内(熊本県内)でも植林、育林活動(約 8ha)を行っています。所有者は国(国有林)です。		

団体名	にっぽんこどものじゃんぐる		
住所	〒386-2211 長野県須坂市峰の原高原ペンションふくなが内		
TEL	0268-74-2729	FAX	0268-74-2729
E-mail	kfukunaga@tim.hi-ho.ne.jp		
URL	http://nipponjungle.blogspot.com/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	子どもの永遠の森保全活動支援、グアナカステ保全エリア保全活動支援		
活動場所	コスタリカ共和国 グアナカステ州、アラフェラ州		
活動期間	1989～2010		
活動の分類	a,b,c,e,h,i		
活動の規模	保全活動支援のため、直接植林したものはない。トラストに協力したものは、モンテベルデは今までに約 20 ヘクタール分、グアナカステは面積不明。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦ACG (Guanacaste Conservation Area)、MCL (Monterverde Conservation League)
活動の内容や特徴	-		
掲載ホームページ	http://nipponjungle.blogspot.com/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③、④
企業へのメッセージ	私達自身は小さく、能力も資金力もありませんが、コスタリカの支援先との付き合いは長く、支援先はとて有名です。しっかりした NGO で、コスタリカ政府との信頼関係もありますので、企業をご紹介したいと思っています。この 20 年間で民間の寄付以外に地球環境基金、経団連基金、イオン財団、トヨタ自動車、日産、国際ボランティア貯金などからご支援いただきました。また、グアナカステ ACG の指導者、ダニエル・ジャンセン教授は、この間京都賞も受賞されました。		

団体名	公益社団法人日本環境教育フォーラム		
住所	〒160-0022 新宿区新宿 5-10-15 ツインズ新宿ビル 4 階		
TEL	03-3350-6770	FAX	03-3350-7818
E-mail	info@jeef.or.jp		
URL	http://www.jeef.or.jp/index.html		
理念・目的	b,d		

森林保全活動の名称	インドネシア国バンテン州レバック県グヌン・ハリムン・サラク国立公園地域における自然資源管理プロジェクト		
活動場所	インドネシア共和国 バンテン州		
活動期間	2009～2013		
活動の分類	b,c,d		
活動の規模			
他団体との連携の有無	有	連携機関	
活動の内容や特徴	国立公園内に住む住民を対象に生活向上支援活動の一環として、サトウヤシなどの林産物の栽培、加工の指導、野生生物の生息地として重要なコリドーを中心とした地域の森林再生などを行っています。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③、④
企業へのメッセージ	植林面積ばかりを成果として気になさる企業の方が多のですが、植林の対象地となる住民たちにとっても植林を前向きに受け取られるようにすること、植林を通じて環境保全の意識を高めること、植林の対象とするのは地域の自然環境の再生、保全につながる樹種であることなど、幅広い視点で見たいと感じております。		

団体名	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター(JVC)		
住所	〒110-8605 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 6F		
TEL	03-3834-2388	FAX	03-3835-0519
E-mail	info@ngo-jvc.net		
URL	http://www.ngo-jvc.net/		
理念・目的	a,b,e 先住民族の権利を確保するため		

森林保全活動の名称	土地・森林の保全による持続的利用を通じた生活改善プロジェクト		
活動場所	ラオス人民民主共和国 サワナケート県		
活動期間	2008～2012		
活動の分類	i		
活動の規模			
他団体との連携の有無	有	連携機関	①県農林局、アサポン郡農林局、ピン郡農林局
活動の内容や特徴	産業植林などの開発が進む活動地で、伝統的に住民が使用してきた森林を将来も使用できるように、共有林としての登録を促進する。登録には、森林の価値と法律を行政と住民の双方が認識することが重要なため、調査ならびに啓発活動を行っている。		
掲載ホームページ	http://www.ngo-jvc.net/jp/projects/laos/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、⑤産業植林が地域に及ぼすマイナス影響の認識
企業へのメッセージ	「植林」イコール「森林保全活動」ではありません。砂漠に植林をすることは、確かに環境に寄与します。しかしながら、豊かな森を切り開いた栄養分が豊富な土地に産業植林をすることは、環境破壊であって、決して森林保全活動ではありません。この点は、決して忘れないでください。		

団体名	特定非営利活動法人 熱帯森林保護団体		
住所	〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-8-20		
TEL	03-5481-1912	FAX	03-5481-1913
E-mail	xingu@rainforestjpc.com		
URL	http://www.rainforestjp.com		
理念・目的	a,d		

森林保全活動の名称	経済的自立のための養蜂事業		
活動場所	ブラジル連邦共和国 マットグロッソ州、シグー国立公園		
活動期間	2010～		
活動の分類	g,i,j 養蜂により、減少している蜂類を把握し、多くの植物と関連する蜂の習性を利用して、森林の活性化を目的とする。		
活動の規模			
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦養蜂専門家
活動の内容や特徴	植林は行ったこともあり、トラスト運動も開始を試みましたが、過度の森林伐採により、乾燥が激化、アマゾンは今、自然発火による森林火災が多発しています。リスクの多い中そのようなことは行えないとして、養蜂事業により残存する森林の調査、保全に乗り出しました。		
掲載ホームページ	http://www.rainforestjp.com/about/work/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、⑤資材面での支援
企業へのメッセージ	植林に多くの関心を持つ方が多いのですが、当団体では前述の理由の通り、植林活動はストップ致しました。企業の方には、資金的な支援と、販売物などの生産段階における環境配慮を期待いたします。社会貢献活動として、結果への支援もちろん求められますが、生産段階での最初の現場が変化することは、とても重要と考えております。		

団体名	熱帯林行動ネットワーク(JATAN)		
住所	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-16 第二得丸ビル 3F		
TEL	03-5269-5097	FAX	-
E-mail	info@jatan.org		
URL	http://www.jatan.org/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	カンパール半島の伝統的生業と文化を維持・発展させるためのエスニック集団のネットワーク形成		
活動場所	インドネシア共和国 リアウ州		
活動期間	2009～2011		
活動の分類	c,d		
活動の規模	村落林の設立支援を下記の村で実施する予定で、詳細は調査中。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②Perkumpulan Alam Sumatera
活動の内容や特徴	木材企業が持つ HTI(産業植林)開発から脅威を受けているケルムタン保護区の周辺コミュニティは自分たちが自主的に参加できる枠組みで持続的に森林を管理・利用していきたいという要望を持っている。一部の村落との間では「村落林」設定の具体的な議論をはじめつつある。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	<p>・企業の原料調達にあたり、上述の政府に対する要請同様、生物多様性や森林生態系など環境的側面、そして人権等の社会的側面を十分に配慮すること。</p> <p>・とりわけ、木材、紙、森林生態系に影響を与えうる商品作物(パーム油、大豆等)などを原料とした製品を扱っている企業は、現地の市民社会等の指摘なども踏まえ、森林生態系や人権などに影響を与えない原料調達方針を策定し、方針に沿った適切な実施・運用を徹底すること。</p>		

団体名	特定非営利活動法人バードライフ・アジア		
住所	〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-14-6 TM 水道橋ビル 4 階		
TEL	03-5213-0461	FAX	03-5213-0462
E-mail	birdlife@birdlife-asia.org		
URL	http://www.birdlife-asia.org/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	Rainforestation		
活動場所	フィリピン共和国 ルソン島、ミンドロ島		
活動期間	2008～		
活動の分類	a		
活動の規模	約 30 ヘクタール、8 万本(1 ヘクタール 2,500～3,000 本植林)		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①フィリピン国政府、②、④Value Frontier
活動の内容や特徴	生物多様性の保全、地球温暖化の緩和、地域社会への貢献の 3 つを叶えるトリプルベネフィット型の植林事業。企業、団体には 1 ヘクタール単位の協賛を依頼。事業費の 10%をコミュニティ支援に使う。		
掲載ホームページ	http://www.birdlife.org/forests/index.html		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	生態系の保全は時間がかかる事業であり、中長期での関与をお願いしたい。又、成果は規模と本数のみではかるのではなく、広義の生態系サービスの観点でとらえて欲しい。		

団体名	特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド		
住所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-13 山商ビル 7 階		
TEL	03-3261-4700	FAX	03-3261-4701
E-mail	hfwoffice@hungerfree.net		
URL	http://www.hungerfree.net/		
理念・目的	a,d,e 貧困層の住民のための①栄養改善(果樹)②収入創出(果樹)③医療(薬樹)に役立てるため。		

森林保全活動の名称	女性対象の有機果樹植林		
活動場所	ウガンダ共和国 ワキソ県 ネッケデ区、ルグジ区など 5 つの区		
活動期間	2007～2011		
活動の分類	a		
活動の規模	女性組織ウイメンエンディングハンガー 20 人と有志の住民 40 人に苗木栽培の研修を行い、46 万 5000 本の果樹、薬用樹を栽培し、340 世帯に配布。		
他団体との連携の有無	無	連携機関	
活動の内容や特徴	同国では HIV/エイズの感染率が高く、HIV/エイズで夫を亡くし家計の収入に苦しむ女性が多い。その支援として果樹、薬用樹の栽培スキルを身につけ、栄養改善、収入創出に役立っている。		
掲載ホームページ	http://www.hungerfree.net/international/uganda/project/pjug1010.html/		
企業との連携希望	無	企業に期待	-
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会		
住所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-5-7 シグマロイヤルハイツ 403		
TEL	03-5350-8458	FAX	03-5350-8458
E-mail	ihcjp@ybb.ne.jp		
URL	http://www.ihc-japan.org		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	生活林づくり		
活動場所	ネパール連邦民主共和国 山岳地域		
活動期間	2000～2030		
活動の分類	a,b		
活動の規模	対象面積:約 2000 ヘクタール。植樹本数約 100 万本。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑦JICA
活動の内容や特徴	生活林をつくりだしている。生活林とは日本でいう里山に相当するものである。		
掲載ホームページ	http://www.ihc-japan.org/support.html		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	「100 円で 1 本」森林の後退が急激にすすむヒマラヤ地域。ここは南アジアの水源域でもあり、森林の後退は下流域にも深刻な被害をあたえています。ヒマラヤ植林のために、あなたの力が今こそ必要です。是非、ヒマラヤ植林サポーターになって木を植えてください。100 円につき 1 本の木を植えさせていただきます。		

団体名	特定非営利活動法人ボルネオオランウータンサバイバルファンデーション日本		
住所	〒188-0011 東京都西東京市田無町 3-5-4		
TEL	042-451-5346	FAX	042-465-7241
E-mail	info@bos-japan.jp		
URL	http://www.bos-japan.jp/		
理念・目的	a,e オランウータンの住める森を残すため、保護林をトラストで守る活動と、エリア内の荒廃地の植林。		

森林保全活動の名称	オランウータン保護プロジェクト、オランウータンの森づくり		
活動場所	インドネシア共和国 東カリマンタン州、クタイ県、クタイカルタネガラ県		
活動期間	2003～		
活動の分類	a(荒廃地への植林),c,e		
活動の規模	オランウータンの生棲域の減少に対する活動。現在のリハビリセンターの植林 400 ヘクタール、トラスト保護林 86,450 ヘクタールを確保することに協力中。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②Borneo Oranghutan Survival 財団(インドネシア)
活動の内容や特徴	インドネシア政府の方針として、2015 年までにオランウータンを自然復帰させることが決まっているが、リリースする森林がないので生態系復元目的の森林利用権(コンセッション)を取得し、保全を目指している。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	人類が安全で安心できる生活環境を維持するためには、地球の肝といわれる熱帯雨林の保全は不可欠です。オランウータンの棲める森を守ることは人類の未来を守ることです。次世代の子どもたちの為にこの活動にたくさんの企業の皆様の参加を願っています。オランウータンのリハビリセンター及び同地での植林体験など、社員の皆様の地球市民教育にも役立れます。		

団体名	特定非営利活動法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン		
住所	〒142-0002 東京都品川区 1-25-8		
TEL	03-3471-4966	FAX	-
E-mail	info@betj.jp		
URL	-		
理念・目的	a,d		

森林保全活動の名称	ボルネオ緑の回廊		
活動場所	マレーシア サバ州キナバタンガン川周辺		
活動期間	2006～2010		
活動の分類	c		
活動の規模	2 万ヘクタールを予定。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①サバ州野生生物局
活動の内容や特徴	ボルネオ島北東部を流れるキナバタンガン川下流域、セガマ川流域は、ボルネオゾウやボルネオオランウータン、テングザル、ギボンなど野生生物が多く生息し、10 の保護区(Lot1～Lot10)と、ゴマントンなどいくつかの保存林があります。1990 年代からアブラヤシのプランテーションの開発が急速に進み、保護区は分断化されており、野生生物は個体数の減少だけでなく、遺伝子の多様性が失われています。ボルネオ緑の回廊プロジェクトは、川沿いにある保護区、保存林の間にある土地(2 万 ha)を確保し、野生生物が自由に移動できるようにするものです。現地の BCT(ボルネオ保全トラスト)がプラットフォームとなっています。土地の確保は、違法占拠地に対して行政への返還を働きかける、使用していない土地は所有者に行政への寄付を呼びかける、購入するといった方法で行っています。購入した土地は BCT の所有となり、野生生物のために確保されます。		
掲載ホームページ	http://www.betj.jp/		
企業との連携希望	有	企業に期待	-
企業へのメッセージ	-		

団体名	マングローブ植林行動計画		
住所	〒164-0012 東京都中野区本町 3-29-15-1101		
TEL	03-3373-9772	FAX	03-3373-9772
E-mail	actmang@big.jp		
URL	http://www3.big.or.jp/~actmang/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	ベトナムでのマングローブ植林支援		
活動場所	ベトナム社会主義共和国 各地		
活動期間	1994～		
活動の分類	a,c,i		
活動の規模	これまでの植栽面積は 3,000 ヘクタールほど。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、④、⑤
活動の内容や特徴	植林目的は、台風による高潮被害の防止(防災林)とマングローブ生態系の修復(地域住民の食料や現金収入となる魚介類を増やす)です。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	<p>次のような植林以外の費用が不足しております。ご興味があればご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マングローブの研究者、植林や保全に関わる技官などを集めたワークショップをベトナムで開催しております。ですが、過去 2 回の英語版報告集の翻訳・印刷、今後の開催費用などの資金の目処がたっていません。 ・「ホーチミンの緑の肺」とも呼ばれるベトナム最大のマングローブ林であるカンザーに、1990 年代にコテージ風の宿泊施設を 5 棟を建設しました。老朽化にともない、日本の NGO・企業の支援で移築がおこなわれましたが、資金不足でまだ 3 棟の移築がストップしております。 		
森林保全活動の名称	ミャンマーでのマングローブによる社会林業支援		
活動場所	ミャンマー連邦共和国 イラワジ管区		
活動期間	1999～		
活動の分類	a,d		
活動の規模	これまでの植林面積は 1,000 ヘクタールを超える。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②、④
活動の内容や特徴	植林目的は、乱伐により荒廃したマングローブ林の修復。そのために住民参加の社会林業の手法が取り入れられています。その背景には、「森を守るには地域住民の参加が不可欠」という政府(森林局)の判断があります。		
掲載ホームページ	-		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	<p>次のような植林以外の費用が不足しております。ご興味があればご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マングローブの研究者、植林や保全に関わる技官などを集めたワークショップをベトナムで開催しております。ですが、過去 2 回の英語版報告集の翻訳・印刷、今後の開催費用などの資金の目処がたっていません。 ・「ホーチミンの緑の肺」とも呼ばれるベトナム最大のマングローブ林であるカンザーに、1990 年代にコテージ風の宿泊施設を 5 棟を建設しました。老朽化にともない、日本の NGO・企業の支援で移築がおこなわれましたが、資金不足でまだ 3 棟の移築がストップしております。 		

団体名	緑のサヘル		
住所	〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 田澤三ビル 3 階		
TEL	03-3252-1040	FAX	03-3252-1041
E-mail	agsj_tokyo@sahelgreen.org		
URL	http://sahelgreen.org/		
理念・目的	e ①地域に暮らす人々の生命を救うと共に、人間的な生活を回復し恒久的なものとするため。②異常気象や砂漠化等、地球的規模の環境問題に資するため。(アフリカの乾燥地域で活動しているため、上記の設問よりかなり切実で、切迫した状況にあります。)		

森林保全活動の名称	バム湖周辺地域自然管理プロジェクト		
活動場所	ブルキナファソ 中央北部州、バム県		
活動期間	2008～		
活動の分類	a,i,l ①薪採取による森林伐採を軽減する改良カマドの普及。②残存森林を利用した養蜂技術の普及。		
活動の規模	2008年～2010年、4村 9.75ヘクタールに計 27,567本の苗木を植栽。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④、⑦
活動の内容や特徴	湖に面する4村において、湖水氾濫の抑制と湖岸崩落の防止を目的とした植林を実施。実作業は全て村民自身によって行なわれ、植林によって確保された土地は穀物・作物・果樹の栽培地となり、成長した樹木は枝打ちされ、薪材として利用される。		
掲載ホームページ	http://sahelgreen.org/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③
企業へのメッセージ	私どもが活動しているアフリカの乾燥地域では、森林は安らぎや憩いの場ではなく、命を支える生活の場となっています。森林の喪失は即ち生活の崩壊であり、直ちに生命の危機を意味します。それにも関わらず、今多くの村々が森林を失いつつあります。そして広大な森林の喪失は、異常気象の原因となり、遠く離れた私たちの生活をも脅かしています。アフリカの緑を守ることは、そこに暮らす多くの人々の命を守ることであり、また私たち自身の生活を守ることに他ならないのです。		
森林保全活動の名称	小学校緑化支援プロジェクト		
活動場所	ブルキナファソ 中央北部州、バム県		
活動期間	2007～		
活動の分類	a,h,j 植林および植栽苗木管理技術の移転。		
活動の規模	2007年～2010年、20小学校の敷地内 5.4ヘクタールに計 3,386本の苗木を植栽。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	④、⑥、⑦
活動の内容や特徴	約20の小学校において、敷地内への植林を実施。植林に先立ち、学童および保護者、教師を対象とした環境講習と実技研修が催され、苗木の植栽、灌水等の実作業は全て三者によって行なわれる。熱風・砂埃の緩和等、学習環境の改善と環境意識の醸成を実現している。		
掲載ホームページ	http://sahelgreen.org/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③
企業へのメッセージ	私どもが活動しているアフリカの乾燥地域では、森林は安らぎや憩いの場ではなく、命を支える生活の場となっています。森林の喪失は即ち生活の崩壊であり、直ちに生命の危機を意味します。それにも関わらず、今多くの村々が森林を失いつつあります。そして広大な森林の喪失は、異常気象の原因となり、遠く離れた私たちの生活をも脅かしています。アフリカの緑を守ることは、そこに暮らす多くの人々の命を守ることであり、また私たち自身の生活を守ることに他ならないのです。		

団体名	認定特定非営利活動法人緑の地球ネットワーク		
住所	〒552-0012 大阪府大阪市港区市岡 1-4-24-501		
TEL	06-6576-6181	FAX	06-6576-6182
E-mail	gentree@s4.dion.ne.jp		
URL	http://homepage3.nifty.com/gentree/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	-		
活動場所	中華人民共和国 山西省大同市		
活動期間	1992～2010		
活動の分類	a,d		
活動の規模	1991年～2009年までに山林樹種 17,203,820本 4596.1ヘクタール、果樹 895,035本 1044.5ヘクタール、合計 18,098,855本 5640.6ヘクタール		
他団体との連携の有無	無	連携機関	
活動の内容や特徴	中国山西省大同市の黄土高原で緑化協力を行っています。カウンターパートである大同市総工会と一緒に大同市にある緑化拠点の管理運営、ワーキングツアー派遣などを行っています。		
掲載ホームページ	http://homepage3.nifty.com/gentree/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、③、④
企業へのメッセージ	-		

団体名	財団法人緑の地球防衛基金		
住所	〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 203		
TEL	03-3297-5505	FAX	03-3297-5507
E-mail	defense@green.email.ne.jp		
URL	http://green-earth-japan.net/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	タンザニアモデル造林事業		
活動場所	タンザニア連合共和国 キリマンジャロ		
活動期間	1991～		
活動の分類	a		
活動の規模	計画面積約 225ヘクタール。1991年から2009年まで累計 645,555本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②タンザニア環境行動計画 (TEACA)
活動の内容や特徴	事業開始当時は、住民の利害対立が少ない森林保護区において植林に取り組み、活動の定着化と技術蓄積を図る。その後、村落部における慣習的土地利用区での住民指導による植林活動として展開。		
掲載ホームページ	http://green-earth-japan.net/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	-		
森林保全活動の名称	中国銅川市南寺山緑化・水上流出防止事業		
活動場所	中華人民共和国 陝西省		
活動期間	2001～2010		
活動の分類	a		
活動の規模	計画面積約 50ヘクタール。植林本数 10年間累計 144,040本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①銅川市王益区農林局
活動の内容や特徴	黄土が風に乗り運ばれた黄土高原南端にある南寺山地域の水土流出防止対策としての緑化事業に加え、「退耕還林」についても対象としている。		
掲載ホームページ	http://green-earth-japan.net/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①
企業へのメッセージ	-		

団体名	特定非営利活動法人メコン・ウォッチ		
住所	〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2F		
TEL	03-3781-8479	FAX	03-3832-5039
E-mail	info@mekongwatch.org		
URL	http://www.mekongwatch.org/		
理念・目的	a,b		

森林保全活動の名称	ラオス北部における住民参加型の水源地保全活動		
活動場所	ラオス人民民主共和国 ウドムサイ県 パクベン郡		
活動期間	2005～		
活動の分類	i,j 住民参加型の森林管理制度作りの支援(水源地管理委員会の設置および水源地管理ルール策定の支援、土地・森林区分の見直しなど)		
活動の規模			
他団体との連携の有無	有	連携機関	⑤ラオス国立大学林学部、パクベン郡農林事務所
活動の内容や特徴	地域住民の土地利用にそぐわない森林政策の実施が、住民の農地不足や破壊的な森林利用を引き起こしてきた対象地域で、現地の行政機関と協力し、住民と行政官からなる水源地管理委員会の設置、水源地管理ルールの策定、土地利用計画の見直しなどの活動を行っている。		
掲載ホームページ	http://www.mekongwatch.org/activity/laosforestry.html		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、④
企業へのメッセージ	森林保全を目的として行われる植林活動に取り組まれる企業が多くありますが、当団体が活動する東南アジア地域では、時として、植林事業が地域住民の生活に配慮せずに行われるケースが見られます。林産物の採取などに利用されてきた森林へのアクセスが奪われ、単一樹種の植林が行われることで、土地利用の混乱や生物多様性の喪失につながることもあります。文化的背景や土地利用の形態が異なる海外での森林保全活動に取り組まれる企業には、地域住民や市民団体などと連携し、地域の環境や人々の生活に配慮した森林保全活動を行っていただきたいと考えます。		

団体名	一般社団法人 more trees		
住所	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-9-11-103		
TEL	03-5770-3969	FAX	03-5770-3896
E-mail	info@more-trees.org		
URL	http://www.more-trees.org/		
理念・目的	a,b,e 生物多様性の維持・回復と地球温暖化防止のため。		

森林保全活動の名称	Forest Carbon Project in Quirino Province, Sierra Madre Biodiversity Corridor, Luzon, Philippines		
活動場所	フィリピン共和国 キリノ州		
活動期間	2007～2027		
活動の分類	a,d		
活動の規模	対象面積:177ヘクタール		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、②
活動の内容や特徴	プロジェクト地域一帯はフィリピンに生息する生物種の45%が生息しているといわれています。その生態系の保全のため、本プロジェクトは在来種を中心とした植林を行い、その後も適切な森林管理を推進することで、生物多様性の保全にも貢献します。一方で、この地域の約半数の世帯が年間1,000ドル～2,000ドルで生活しています。この森林プロジェクトでは果樹も同時に育てることで、収穫した果実の販売による現金収入の機会を創出するなど、地域の貧困削減も目指しています。		
掲載ホームページ	http://www.more-trees.org/project/project04.html		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、⑤森林由来のカーボンオフセットの導入
企業へのメッセージ	一緒に森林保全活動に取り組むことで、企業の環境価値を一緒に高めていければと思います。と同時に、カーボンオフセットも一緒に取り組んでいければと思います。		

団体名	特定非営利活動法人 緑化ネットワーク		
住所	〒221-0834 神奈川県横浜市神奈川区台町 8-14 ベイシティ滝川 502		
TEL	045-328-3135	FAX	045-328-3135
E-mail	ryokuka@green-network.org		
URL	http://www.green-network.org/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	-		
活動場所	中華人民共和国 内蒙古自治区通遼市		
活動期間	2000～		
活動の分類	a,b,g,h,i		
活動の規模	約 1,800 ヘクタール、約 400 万本		
他団体との連携の有無	有	連携機関	①、③、④、⑤、⑦
活動の内容や特徴	防風防砂を基礎とし、生産性の範囲内での持続可能な利用と在来植生の回復・保全を目的に、住民の自立的な緑化活動への取り組みを支援する。		
掲載ホームページ	http://www.green-network.org/		
企業との連携希望	-	企業に期待	-
企業へのメッセージ	本数を植えることだけにとらわれている企業、市民が多い現状に、現場から警鐘を鳴らしたいです。実際には植えること以上に育てること、また再度荒廃させないために住民生活の向上や理解の浸透などへの労力と費用が莫大です。植林一辺倒の保全活動という考えを捨て、活動のあり方そのものを考えていただければと思います。		

団体名	特定非営利活動法人 Link・森と水と人をつなぐ会		
住所	〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3 丁目 29 番 3-205 号		
TEL	080-2035-4291	FAX	-
E-mail	link.cnx@gmail.com		
URL	http://www.geocities.jp/link_chiangmai_forest/		
理念・目的	a,b,d		

森林保全活動の名称	北タイの森を守る人を支えるプロジェクト		
活動場所	タイ王国 北部地域		
活動期間	2004～		
活動の分類	d,i		
活動の規模	これまでにチェンマイ県、チェンライ県内の 10 村で活動を実施、内 8 村で終了している。		
他団体との連携の有無	有	連携機関	②、⑦住民組織
活動の内容や特徴	地域住民による森林の保全と持続的利用を実現するため、地域情報の活用による住民組織およびその活動の強化を図っている。具体的には、住民と共に、保全する森林の範囲を示す地図の作成や、村の開発に伴う暮らしの変化や自然資源の利用形態(伝統知などを含む)、住民の保全活動の経緯といった情報を、冊子“村の百科事典”にまとめている。これは住民間の認識の共有、活動計画の立案や、行政・その他の外部団体との交渉に資する。		
掲載ホームページ	http://www.geocities.jp/link_chiangmai_forest/		
企業との連携希望	有	企業に期待	①、②、③、④
企業へのメッセージ	タイを含む東南アジア諸国においては、日本での消費に膨大な面積の森林が伐採され、これがこの地域の国土の荒廃や地域住民の貧困化に結び付いているケースも少なくありません。私たち日本人が資源を消費した側としての責任を果たすためにも、また、双方にとって、将来にわたる持続的な社会の建設のためにも、是非、積極的な役割を担っていくことが求められていると思われまます。また、日本に企業にはそのための人材やノウハウなどの多くの蓄積があり、できることは少なくなく、積極的な関与に期待しています。		

添付資料 3 シンポジウム配布資料

シンポジウム みんなで守り育む世界の森 2011 —企業と NGO/NPO のパートナーシップによる森林保全活動—

減少と劣化を続ける世界の森林の問題に取り組むため、植林などの森林保全活動に関心を寄せる企業が増えてきています。より効果的・効率的な活動のためには海外での活動実績を持つ NGO/NPO との連携が有効と考えられるため、その促進を目的にシンポジウムを開催いたします。

昨年は国連の定めた国際生物多様性年、今年は国際森林年となっており、生物多様性、気候変動緩和など多岐にわたる森林の役割とその重要性は、さらに注目が集まることとなります。

パート 1 の講演会では、企業が取り組む海外での森林保全・植林の実践と課題、NGO/NPO とのパートナーシップによる森林保全活動のグッドプラクティスの具体例を紹介いたします。パート 2 は、海外での森林保全活動の経験が豊富な NGO/NPO 8 団体の各ブースにおいて、各団体から活動紹介が行われることになっています。

概要

- 日時： 2011 年 1 月 18 日（火） 13：30～17：00
- 場所： JICA 地球ひろば 講堂（東京都渋谷区広尾 4-2-24）
- 共催： 環境省／地球・人間環境フォーラム

プログラム

（敬称略）

パート1：講演会

- 13：30～13：40 開会
- 13：40～13：45 主催者挨拶
森本 英香（環境省大臣官房審議官）
- 13：45～14：25 基調講演：「企業による海外での森林保全活動—成功の秘訣」
日比 保史（コンサベーション・インターナショナル
日本プログラム代表）
- 14：25～14：50 事例：「アウトドアメーカーが取り組む森林保全活動」
篠 健司（パタゴニア日本支社環境担当）
- 14：50～15：05 調査結果発表：「国内・海外企業の森林保全活動のトレンド」
- 15：05～15：15 休憩

パート2：NGO/NPO と企業との情報交換・交流会

NGO/NPO の森林保全活動を紹介するブースにおいて、各団体から活動紹介が行われます。活動紹介のあとには質疑等を行う時間を設けております。

※ 8 か所のブースのうち 3 か所をお選びいただけます。

- 15：15～15：20 情報交換・交流会の解説
- 15：20～15：50 NGO/NPO との情報交換・交流 1
- 15：50～16：20 NGO/NPO との情報交換・交流 2
- 16：20～16：50 NGO/NPO との情報交換・交流 3
- 16：50～17：00 まとめ・閉会挨拶



2011・国際森林年

講師略歴

(敬称略)

日比 保史 (ひび・やすし)

コンサベーション・インターナショナル 日本プログラム代表

野村総合研究所、国連開発計画 (UNDP) を経て、2003 年 4 月より、国際 NGO コンサベーション・インターナショナル日本プログラム代表。生物多様性保全を通じた持続可能な社会づくりを目指し、国際機関、政府、企業等とのパートナーシップ構築に取り組む。環境省 REDD+ 検討委員、環境省アジア環境協力戦略検討委員、JICA 環境社会配慮助言委員、JBIC 環境審査役選定委員、カーボンオフセット認証委員、三菱商事グループ環境・CSR アドバイザリーコミッティメンバー、緑の循環認証機構評議員、上智大学、早稲田大学等で非常勤講師などを務めるほか、多数の企業に環境戦略を助言。著作に「Hotspots Revisited」、「生態学からみた保護地域と多様性保全」、「CSR 経営の中に生物多様性保全を組み込み！」など。

篠 健司 (しの・けんじ)

パタゴニア日本支社 環境担当

1988 年、米アウトドアブランド・パタゴニアの日本支社設立と同時に入社し、広報、直営店舗マネージャー等を務める。2000 年から 2 年間、REI ジャパン勤務後、パタゴニア日本支社に再入社。ロジスティック・マネージャーを経て、2004 年から環境担当。環境助成金、環境キャンペーン、従業員インターンシップなどの環境プログラムを通じた環境団体の支援、従業員の環境活動の推進責任者。その他に、売上の 1% を環境団体に寄付する企業によるネットワーク「1% For The Planet」日本窓口、アウトドア産業による環境保護基金「コンサベーション・アライアンス・ジャパン」理事。

【参加 NGO/NPO】(五十音順)

特定非営利活動法人 アジア植林友好協会
 特定非営利活動法人 環境修復保全機構
 特定非営利活動法人 国際環境 NGO FoE Japan、
 特定非営利活動法人 コンサベーション・インターナショナル
 特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラストジャパン
 認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク
 一般社団法人 more trees (モア・トゥリーズ)
 特定非営利活動法人 緑化ネットワーク



企業とNGO/NPOの
パートナーシップに
よる森林保全活動

**企業による
海外での森
林保全活動:
成功の秘訣**

2011年1月18日

日比保史



なぜ企業が「植林」するのか

- ・社会・環境貢献／生物多様性保全
- ・気候変動対策
- ・企業／ブランドイメージの向上
- ・社員満足度の向上
- ・顧客・市場との関係強化



CSR(企業の社会的責任)



日本企業は「植林」が好き

“450万本を植林しました”

“3000人の社員ボランティアが29万本の木を植えました”

“5万本のユーカリ、アカシアを植林しました”

“250万本のユーカリを炭素吸収を目的にオーストラリアに植林しました”

“商品の売りに上げにつき1本植林します”

“工場敷地の緑化を推進しています”



日本企業のCSRによる海外「植林」の課題

- ・本当に「植林」がCSR(=社会への貢献)につながっているのか？
- ・何のために「植林」するのか、どうあるべきかを議論し、社内、パートナー(NGO)・地元行政・コミュニティと共有することができていない
- ・経営者、消費者にとっての「分かりやすさ」を追求している
- ・成果の「測定」、「評価」を重視するあまり、「指標」が目的化している
- ・パートナー(NGO)、地元コミュニティを計画の初期段階から巻き込んでいない
- ・「社会貢献」という「甘え」→妥当性があり効率的な取り組み



CSRとして植林よりもすべきこと

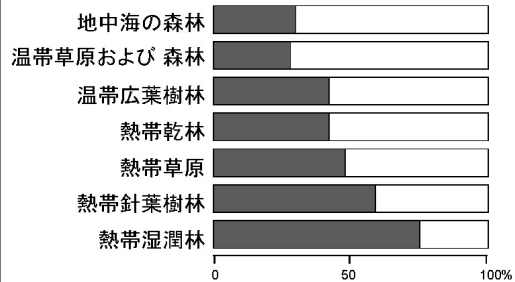
- ・CSRのキーワードは、「サステナビリティ(持続可能性)」
- ・グローバルな企業は、CSRにもグローバルな視点で取り組むことが求められる
- ・「気候変動」、「生物多様性」、「貧困削減」がグローバルな課題
- ・これらの問題解決に貢献することがグローバル企業のCSR



**毎年、約1400万haの
森林が失われている**



1990年までの森林タイプ別の減少



出典: ミレニアム生態系評価



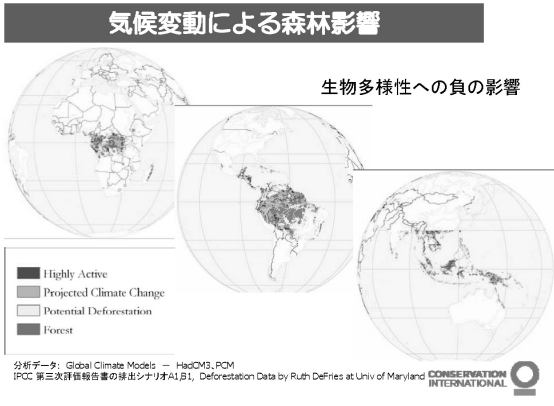


世界の森林減少・劣化の要因

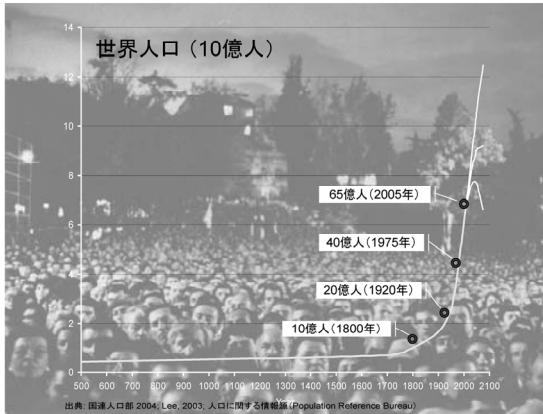
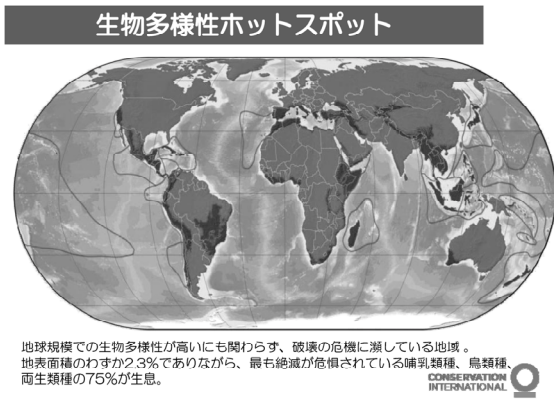
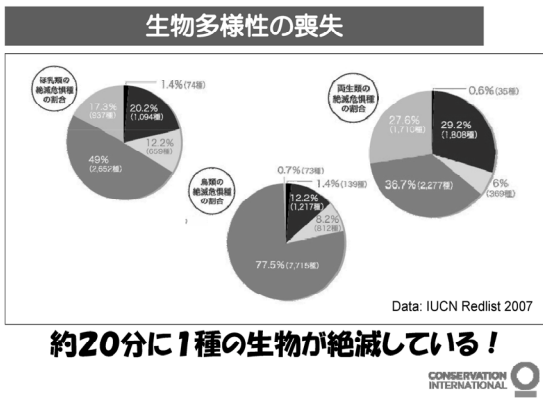
- ・農地への転換(焼畑農業を含む)
- ・森林伐採(違法伐採を含む)
- ・都市・インフラ開発
- ・鉱山開発
- ・森林管理の欠如
- ・気候変動



気候変動との関連

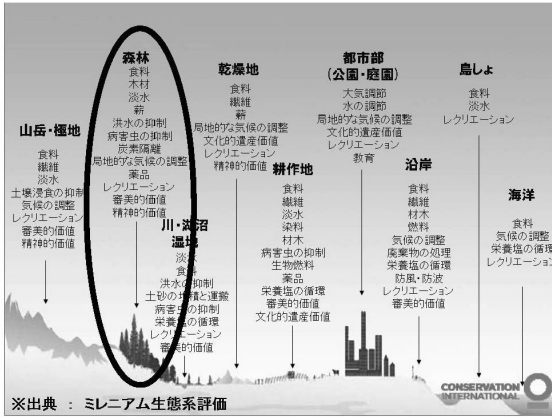
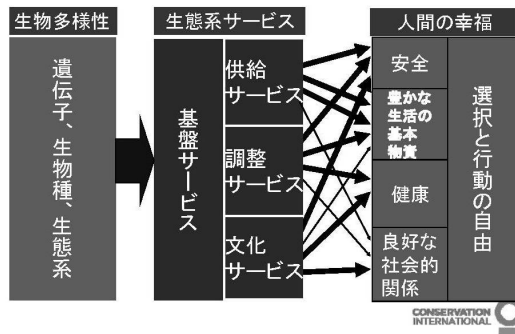


森林の消失は、全温室効果ガス排出の約15%を占める





生態系サービスの重要性



生態系サービスの経済的評価

生態系	経済価値
海 (食料供給、酸素供給、二酸化炭素吸収)	21.0兆ドル
森林 (木材・非木材産品供給、治山・治水、水源涵養)	4.7兆ドル
河川・湖沼 (淡水供給、水質浄化)	6.5兆ドル
農地 (昆虫による受粉、栄養素循環など)	0.1兆ドル
合計	約33兆ドル

出所)Costanza et al. (Nature 1997)より作成



生態系サービスに依存する貧困コミュニティ

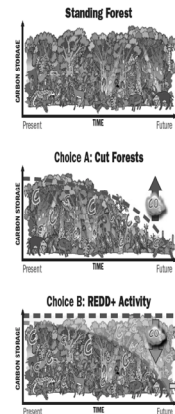
- 生態系に依存する食料・栄養源
 - 農作物・海産物、非木材林産物
 - 栄養循環
- 自然資源に依存する生計手段
 - 第一次産業への依存 (農業、漁業、林業)
 - 高度化されない農業 (生態系サービスへの依存、水、土壌・地力の保持など)
- 生態系サービスに依存する健康・衛生環境
 - 地下水や河川に依存する飲料水
 - 水質浄化、大気浄化
 - ミクロな気候安定化
 - 防災
- バイオマスに依存するエネルギー
 - 近郊森林からの燃料木・木炭を利用

女性 (ジェンダー)、
先住民への
配慮・貢献



途上国で求められる森林事業

- 地球の森林減少に歯止めをかける
- 気候変動対策、生物多様性保全、貧困削減に貢献する
- 事業効果が持続可能である
- 対象国・地域の開発目標に合致している
- 周辺地での他プロジェクトとの調整が出来る
- 地元コミュニティ、専門家 (NGO、研究機関、開発援助機関等) が計画当初から参画している
- 十分で妥当な資金計画がある



REDD+
森林減少/劣化からの温室効果ガス排出の削減

- REDD+とは:
- 森林減少からの排出削減;
 - 森林劣化からの排出削減;
 - 森林の炭素ストックの保全;
 - 持続的な森林管理;
 - 森林の炭素ストックの増加;
- に取組む国レベルでの取組み (COP16決議)

- 具体的には、森林を有する途上国が:
- 国家戦略または行動計画を策定;
 - 国レベル、準国レベルでの参照排出水準を策定;
 - 強力かつ透明性の高い国家森林モニタリング制度を構築;
 - セーフガード制度を構築し、それを先進国が、技術的、資金的に支援するしくみ



CCB基準

明確なトリプル・ベネフィットを生み出す土地利用 (LULUCF) 事業を発掘・形成するための基準

パートナー：BP社、SC ジョソソ社、GFA テラ・システムズ社、インテル社、CI、ハンブルグ国際経済研究所、TNC、ペランギ、CARE

世界銀行・中国国家林業局などのプロジェクトにて採用のほか、エコ・セキュリティーズ社がスクリーニングに採用



CCB基準の概要

一般要求項目 (法的根拠やコンプライアンス、土地所有権確認などの必須項目)

気候保全

- ▶ 実質的なプラスのインパクト (追加性) (必須)
- ▶ 純人為的吸収量の適切な算出 (必須)
- ▶ サイト外でのインパクト (リーケージ) (必須)
- ▶ 持続性 (1点)
- ▶ プロジェクトの気候変動への適応 (1点)
- ▶ モニタリングと認証 (1点)

コミュニティ貢献

- ▶ 地元コミュニティへの実質的なプラスのインパクト (プロジェクト参加を含む) (必須)
- ▶ プロジェクト従事者の安全性 (必須)
- ▶ プロジェクトの透明性 (1点)
- ▶ 事業管理への地元コミュニティの登用 (1点)
- ▶ 能力開発への貢献 (1点)
- ▶ ベスト・プラクティス (地元の社会的慣習の尊重など) の導入 (1点)

生物多様性保全

- ▶ 保全計画の策定 (必須)
- ▶ 絶滅危惧種に危害を加えない (必須)
- ▶ GMOの不使用 (必須)
- ▶ 在来種の利用 (1点)
- ▶ 絶滅危惧種や固有種の保護への貢献 (1点)
- ▶ 水・土壌の改善 (1点)
- ▶ プロジェクト対象地の位置 (1点)

- ・ 第2版が発行
- ・ 日本語版も!

www.climate-standards.org



途上国でのプロジェクト評価

定量的に測ることが「評価」ではない。定性的評価も重要
分かりやすさを追求するのが目的ではない

REIIS評価とは

- ・ 妥当性 (Relevance)
- ・ 有効性 (Effectiveness)
- ・ 効率性 (Efficiency)
- ・ インパクト (Impact)
- ・ 自立発展性 (Sustainability)

(OECD-DACの評価5項目)

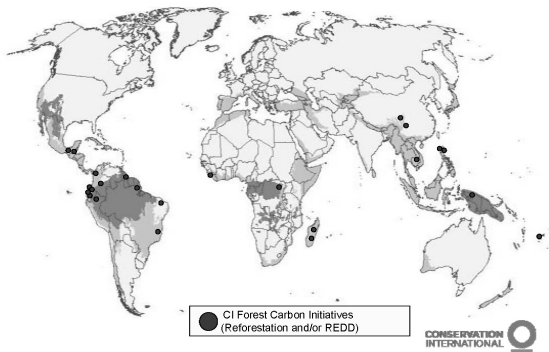


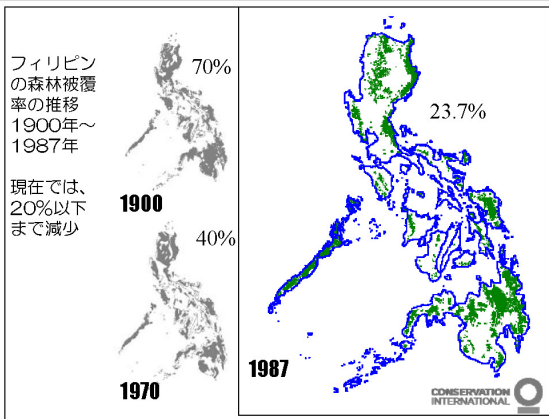
NGOとのパートナーシップの必要性・有効性

- ・ 植林/森林管理に関する技術
- ・ 森林生態系に関する専門知識
- ・ 長期的かつ持続的な視野に基づくプロジェクトを計画・実施・管理するノウハウ
- ・ コミュニティと協働するノウハウ
- ・ 地元政府と協働するノウハウ
- ・ 地元での教育・啓発活動のノウハウ
- ・ 地元コミュニティの代替生計手段開発
- ・ カーボン・プロジェクトのノウハウ
- ・ 幅広い聴衆への広報効果



主なCIの森林カーボン・プロジェクト



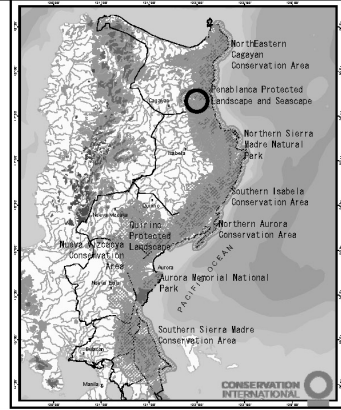


シエラマドレ生物
多様性コリドー
(SMBC)

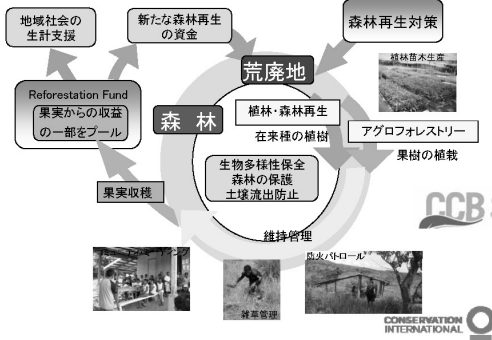
10年戦略に基づく
保全達成目標
(2000年に開始)

9つの保全プライ
オリティ地域の確
定

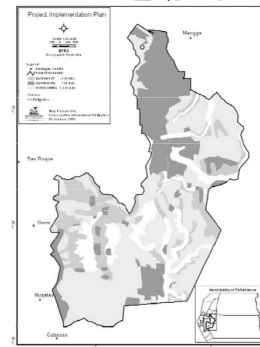
2002年、ステー
クホルダー会議にて、
地図と目標を共有、
承認



持続可能な森林プロジェクト・モデル



活動マップ (計画)



- 在来種による再森林化
- 在来種による補植
- アグロフォレストリー

全体面積: 2,943ha



森林再生対象地



植林準備作業

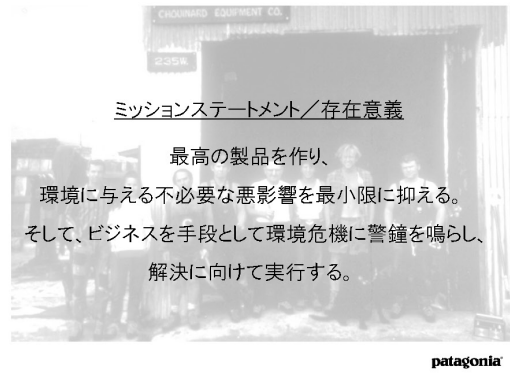
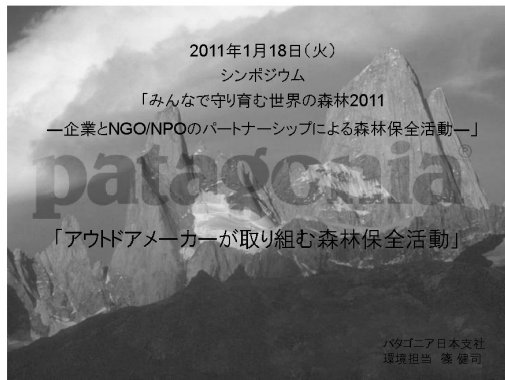
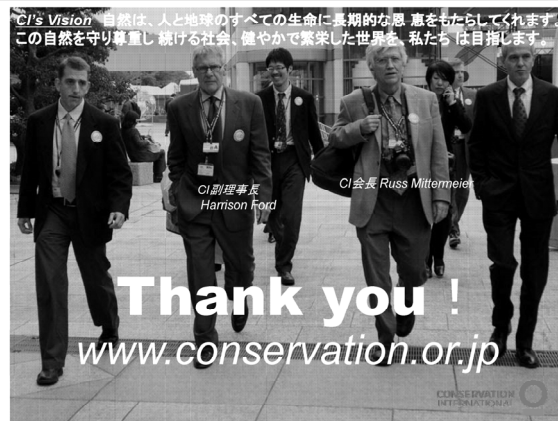
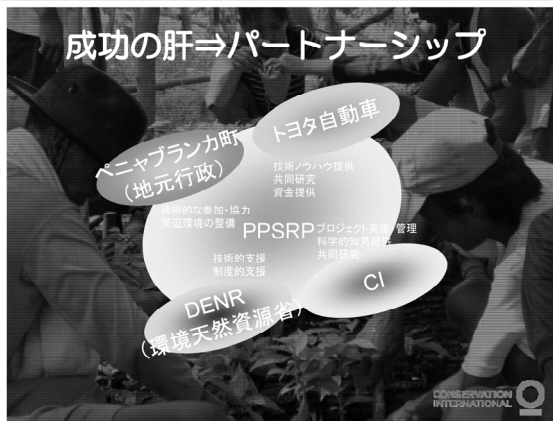


バランガイ(村)につくられた苗床



コミュニティ・ミーティング





企業が非営利団体に提供できるもの

- ①資金
- ②自社の有する製品・サービスの供与
- ③製品以外の現物支給
 - ・有形：ミーティング・スペースなど
 - ・無形：デザイン・スキルの提供など
- ④サービスに対する報酬
- ⑤広報・宣伝の機会の供与
 - ・組織：企業のメディアを活用
 - ・従業員：スポークスパーソン
- ⑥マーケティングやブランディングに関する知識

patagonia



パタゴニア環境プログラム

2010年度: \$3,444,263(全社)

- ・環境助成金プログラム寄付先:
433団体/\$2,254,267
- ・製品寄付: \$400,000
- ・環境キャンペーン

開始以来...

- ・インターンシップ・プログラム: 768名
- ・草の根活動家のツール会議: 1,018名
- ・1% for The Planet: 1,330社
- ・アウトドア環境保護基金: \$9,000,000

patagonia



パタゴニア環境プログラム

**2010年度環境助成金プログラム
\$2,254,267**

分野別内訳

代替エネルギー	\$ 15,500
生物多様性	\$ 697,002
資源搾取	\$ 66,000
社会啓蒙活動	\$ 192,250
持続可能な農業	\$ 326,361
有害物質/核	\$ 130,515
海洋/水域	\$ 648,989
森林	\$ 177,650

patagonia



なぜ、森林の保護に関わる団体を支援するのでしょうか？

かつて、素晴らしい森林生態系が繁栄していた世界中の地域で、原生林が消滅しています。生物の多様性に富んでいた天然林は単一樹種の植林に取って変わり、森林伐採は森林に依存している多くの生物種と、その恵みに依存してきた人々の暮らしに破滅的な影響を与えています。

「死んだ地球からはビジネスは生まれ
ない。健康な地球がなければ株
主も、顧客も、社員も存在しな
い。」
patagonia



パタゴニア環境プログラム

環境助成金プログラム: 森林

助成先例(2008-2010/日本)

- ・日本の天然林を救う全国連絡会議
- ・ナショナルトラスト・チコロナイ
- ・大雪と石狩の自然を守る会
- ・水守人の会
- ・NPO法人 森は海の恋人
- ・NPO法人 丹沢自然保護協会
- ・国際環境NGO FoE Japan
- ・熱帯林行動ネットワーク
- ・レイフオレスト・アクション・ネットワーク
- 日本代表部

patagonia



ボイス・ユア・チョイス・プログラム~顧客の意見を助成に反映~

- 投票期間:
2010年9月30日~10月28日
- 投票者数: 約4,500名
- 総助成額: 560万円
- 森林分野の助成先
 - ・大雪と石狩の自然を守る会
 - ・水守人の会
 - ・NPO法人 森は海の恋人
 - ・NPO法人 丹沢自然保護協会
 - ・国際環境NGO FoE Japan

patagonia



**草の根活動家のための
ツール会議**

資金支援にとどまらず、パタゴニアが持つマーケティング・ノウハウやスキルなどの“資産”を環境問題を解決するために活動している草の根の活動家に提供するための宿泊型ワークショップ

- ・ビジョンの策定
- ・キャンペーン戦略
- ・組織の活性化
- ・組織外へのコミュニケーション
- ・プレゼンテーション・スキルpatagonia

**インターンシップ・プログラム
従業員が有給で環境団体に働く**

- ポジション: リペア部門/パートタイム
- 期間: 2010年7月19~29日、10月3~18日、合計4週間
- インターン先: 里山生活学校(岩手)
- 組織目的: 里山の保護・保全
- 活動内容:
 1. 里山整備(雑木林間伐、ピオトープ設置)
 2. 有機農園支援(羊用サイレージ作り、農作業)
 3. イベントサポート(自然観察会など)
 4. デスクワーク(ブログ作成、里山生産物加工品の企画、活用アイデア会議、教材準備)

patagonia



〔事例〕タイガの森フォーラム＜支援の背景＞

2004年:

- ・FoE Japanが取り組む極東ロシア・サマルガ川流域の保護活動を支援
- ・C.W.ニコル氏のエッセイをカタログに掲載
- ・C.W.ニコル氏、FoE Japan担当者をゲストに店舗にてトークイベント開催
- ・FoE Japanを支援していたリコーの社会貢献担当者と知り合う

2008年:

- ・サマルガ川流域の保全活動がきっかけとなり、リコー社会貢献担当者より、タイガの森フォーラムの活動へ推薦いただく
- ・2008年より、日本支社として初めての国内キャンペーン「フリートゥ・フロー〜川と流域を守る」の展開を始めていた。
- ・また、日本の研究者、米国NGO・Wild Salmon Centerなどからも、ピギン川流域の生物多様性の保護の重要性、日本との関連について情報を得る
- ・以降、篠が運営委員のひとりとしてタイガの森フォーラムの運営に参加

〔事例〕タイガの森フォーラム＜支援内容＞

①カタログ／ウェブサイトの活用



②広報のサポート: 店舗やソーシャルメディアで情報発信

③アイデア等の提供: 運営委員として会議、イベントへの参加

紙の使用および調達方針

紙の選択順位

1. 技術的および環境的に可能な限りPCR原料(市中回収古紙)を最大限に含む紙
2. 脱墨した製造段階における損紙から作った再生紙
3. リサイクル原料100%の再生紙が調達できない場合は、絶滅の危機に直面している森林に由来するパージンバルブ未使用の紙を指定し、また FSC森林管理協議会の認証を受けた紙を優先的に使用
4. 万一使用している紙に絶滅の危機に直面している森林からのパージンバルブが含まれているのを確認した場合、段階的に使用を中止

オンライン・カタログによる紙使用の削減



Forest Ethics - 森林保護団体による評価

毎年クリスマス時期に発表されるダイレクトメール企業の森林配慮度



Company	Direct Mail	Recycled Paper	FSC Certified	Other
Patagonia	Yes	Yes	Yes	Yes
Apple	Yes	Yes	Yes	Yes
Amazon	Yes	Yes	Yes	Yes
Microsoft	Yes	Yes	Yes	Yes
Google	Yes	Yes	Yes	Yes
IBM	Yes	Yes	Yes	Yes
Oracle	Yes	Yes	Yes	Yes
SAP	Yes	Yes	Yes	Yes
HP	Yes	Yes	Yes	Yes
Canon	Yes	Yes	Yes	Yes
Brother	Yes	Yes	Yes	Yes
Xerox	Yes	Yes	Yes	Yes
Verizon	Yes	Yes	Yes	Yes
AT&T	Yes	Yes	Yes	Yes
Comcast	Yes	Yes	Yes	Yes
Time Warner	Yes	Yes	Yes	Yes
News Corp	Yes	Yes	Yes	Yes
Disney	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Parks	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Imagineering	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Studios	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Animation Studios	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Live Action Studios	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Television Studios	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Consumer Products	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Imagineering	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney Parks and Resorts	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Resort	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Swan and Dolphin	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Dolphin	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Swan	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Dolphin	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Swan	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Dolphin	Yes	Yes	Yes	Yes
Walt Disney World Swan	Yes	Yes	Yes	Yes



“正しい行いが利益を生む優良ビジネスにつながることを示す”

Yvon Chouinard(パタゴニア創業者)

patagonia

<p>シンポジウム: みんなで守り育む世界の森2011 2011.1.18</p> <h2 style="text-align: center;">企業とNGO/NPOの 森林保全活動のトレンド</h2> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム 飯沼佐代子</p>	<p style="text-align: right;">2</p> <h3 style="text-align: center;">「企業とNGO/NPOの森林保全活動のトレンド」</h3> <p>環境省事業により</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業とNGO/NPOの海外での森林保全活動について調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ○2008年度:企業とNGO/NPOの森林保全活動、パートナーシップの状況、課題等についての調査 ○2009-10年度:国内および海外の企業・NGO/NPOの森林保全活動とパートナーシップの優良事例調査、海外における森林保全活動の課題と留意点 ●企業とNGO/NPOとのパートナーシップを促進するための事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ○2009年度ガイドブック作成 ○2009、10年度シンポジウム「みんなで守り育む世界の森」の開催 ○2010年度Webサイト(Forest Partnership Platform)の構築 <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>																																		
<p style="text-align: center;">3</p> <h3 style="text-align: center;">日本の企業、NGO/NPOによる 森林保全活動の現状</h3> <p style="text-align: center;">企業とNGO/NPOの森林保全活動の類型(複数回答)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">企業</th> <th colspan="2">NGO/NPO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①植林</td> <td>65%</td> <td>①植林</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>②NGO/NPOへの寄付</td> <td>41%</td> <td>②コミュニティ林業の支援</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>③原材料調達森林における配慮</td> <td>30%</td> <td>③森林問題の調査と普及啓発</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>④育林・森林整備</td> <td>19%</td> <td>④育林・森林整備</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>⑤自然環境教育・社員教育</td> <td>11%</td> <td>⑤自然環境教育</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑥天然林保全</td> <td>18%</td> </tr> </tbody> </table> <p>最も取り組みが多いのは企業、NGO/NPOとも植林活動だが、企業は「NGO/NPOへの寄付」、NGO/NPOは「コミュニティ林業の支援」と「森林問題の調査と普及啓発」が占める割合が大きい。 「森林保全分野のパートナーシップ構築のあり方調査報告書」地球・人間環境フォーラム2009 及び「H22森林保全分野のパートナーシップ構築のあり方調査」結果より</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>	企業		NGO/NPO		①植林	65%	①植林	76%	②NGO/NPOへの寄付	41%	②コミュニティ林業の支援	39%	③原材料調達森林における配慮	30%	③森林問題の調査と普及啓発	34%	④育林・森林整備	19%	④育林・森林整備	26%	⑤自然環境教育・社員教育	11%	⑤自然環境教育	26%			⑥天然林保全	18%	<p style="text-align: center;">4</p> <h3 style="text-align: center;">日本の企業、NGO/NPOによる 森林保全活動の現状</h3> <p style="text-align: center;">森林保全活動の対象地</p> <p>活動地は、企業、NGO/NPOとも、中国と東南アジア(インドネシア、タイなど)を中心にアフリカ、南米など世界中で活動が行われている。 中国は沙漠緑化、東南アジアは熱帯林再生を目的とした植林が多い。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">沙漠緑化 ©FoE 熱帯林再生(苗畑)</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>						
企業		NGO/NPO																																	
①植林	65%	①植林	76%																																
②NGO/NPOへの寄付	41%	②コミュニティ林業の支援	39%																																
③原材料調達森林における配慮	30%	③森林問題の調査と普及啓発	34%																																
④育林・森林整備	19%	④育林・森林整備	26%																																
⑤自然環境教育・社員教育	11%	⑤自然環境教育	26%																																
		⑥天然林保全	18%																																
<p style="text-align: center;">5</p> <h3 style="text-align: center;">日本の企業、NGO/NPOによる 森林保全活動の現状</h3> <p style="text-align: center;">森林保全活動の目的(複数回答)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">企業</th> <th colspan="2">NGO/NPO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①森林減少に取り組むため</td> <td>78%</td> <td>①森林減少に取り組むため</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>②地域社会への貢献</td> <td>59%</td> <td>②地域社会への貢献</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>③企業イメージ向上</td> <td>41%</td> <td>③環境教育</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>④従業員の環境教育・ボランティア</td> <td>38%</td> <td>④その他</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>⑤事業活動の環境負荷の削減</td> <td>38%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>①、②の目的は共通している。企業は③イメージ向上などPRを意識した目的を持って活動している。NGO/NPOは地域社会への貢献を目的としているところが多く、④その他の内容でも、「生活向上への貢献」、「持続可能な生活の実現」など、森林保全を地域の生活の安定のための重要な要素ととらえていることが分かる。</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>	企業		NGO/NPO		①森林減少に取り組むため	78%	①森林減少に取り組むため	87%	②地域社会への貢献	59%	②地域社会への貢献	79%	③企業イメージ向上	41%	③環境教育	50%	④従業員の環境教育・ボランティア	38%	④その他	32%	⑤事業活動の環境負荷の削減	38%			<p style="text-align: center;">6</p> <h3 style="text-align: center;">パートナーシップのメリットと課題</h3> <p style="text-align: center;">パートナーシップのメリット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業</th> <th>NGO/NPO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①専門的知識・ノウハウ</td> <td>①安定的な資金の確保</td> </tr> <tr> <td>②企業ではできない活動の受け皿</td> <td>②情報発信・PR効果向上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③企業市民教育</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④企業の調達方針・経営への影響</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業側の求める専門知識には現地でのコミュニケーションや活動のノウハウが含まれ、海外における森林保全活動には、現地での経験豊富なNGO/NPOとの連携が不可欠との意見も多い。 NGO/NPO側は企業との連携に多様な効果を期待している。</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>	企業	NGO/NPO	①専門的知識・ノウハウ	①安定的な資金の確保	②企業ではできない活動の受け皿	②情報発信・PR効果向上		③企業市民教育		④企業の調達方針・経営への影響
企業		NGO/NPO																																	
①森林減少に取り組むため	78%	①森林減少に取り組むため	87%																																
②地域社会への貢献	59%	②地域社会への貢献	79%																																
③企業イメージ向上	41%	③環境教育	50%																																
④従業員の環境教育・ボランティア	38%	④その他	32%																																
⑤事業活動の環境負荷の削減	38%																																		
企業	NGO/NPO																																		
①専門的知識・ノウハウ	①安定的な資金の確保																																		
②企業ではできない活動の受け皿	②情報発信・PR効果向上																																		
	③企業市民教育																																		
	④企業の調達方針・経営への影響																																		
<p style="text-align: center;">7</p> <h3 style="text-align: center;">パートナーシップのメリットと課題</h3> <p style="text-align: center;">パートナーシップへの期待</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業側からNGO/NPOへの期待</th> <th>NGO/NPO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①希望する</td> <td>68%</td> <td>①希望する</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>②希望しない</td> <td>16%</td> <td>②希望しない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>③無回答</td> <td>18%</td> <td>③無回答</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>NGO/NPOから企業へ期待する支援・連携内容 資金的支援(71%) 人的・技術的支援(29%) 広報での支援(34%) 企業社員への地球市民教育(18%) その他(18%)</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>	企業側からNGO/NPOへの期待	NGO/NPO	①希望する	68%	①希望する	95%	②希望しない	16%	②希望しない	5%	③無回答	18%	③無回答	0%	<p style="text-align: center;">8</p> <h3 style="text-align: center;">パートナーシップのメリットと課題</h3> <p style="text-align: center;">パートナーシップの課題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業</th> <th>NGO/NPO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①目的の共有</td> <td>①森林保全に関する考え方の相違</td> </tr> <tr> <td>②NGO/NPOのキャパシティ不足</td> <td>②企業のニーズを優先</td> </tr> <tr> <td>③NGO/NPOに関する情報不足</td> <td>③植林の環境・社会影響への配慮が不十分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④CSRが広報・免罪符に</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤NGO/NPO側のキャパシティ不足</td> </tr> </tbody> </table> <p>双方の課題に関する認識に乖離がある。パートナーシップの成功のためには、違いを理解し、認識を共有する努力が重要。</p> <p style="text-align: right;">地球・人間環境フォーラム</p>	企業	NGO/NPO	①目的の共有	①森林保全に関する考え方の相違	②NGO/NPOのキャパシティ不足	②企業のニーズを優先	③NGO/NPOに関する情報不足	③植林の環境・社会影響への配慮が不十分		④CSRが広報・免罪符に		⑤NGO/NPO側のキャパシティ不足								
企業側からNGO/NPOへの期待	NGO/NPO																																		
①希望する	68%	①希望する	95%																																
②希望しない	16%	②希望しない	5%																																
③無回答	18%	③無回答	0%																																
企業	NGO/NPO																																		
①目的の共有	①森林保全に関する考え方の相違																																		
②NGO/NPOのキャパシティ不足	②企業のニーズを優先																																		
③NGO/NPOに関する情報不足	③植林の環境・社会影響への配慮が不十分																																		
	④CSRが広報・免罪符に																																		
	⑤NGO/NPO側のキャパシティ不足																																		

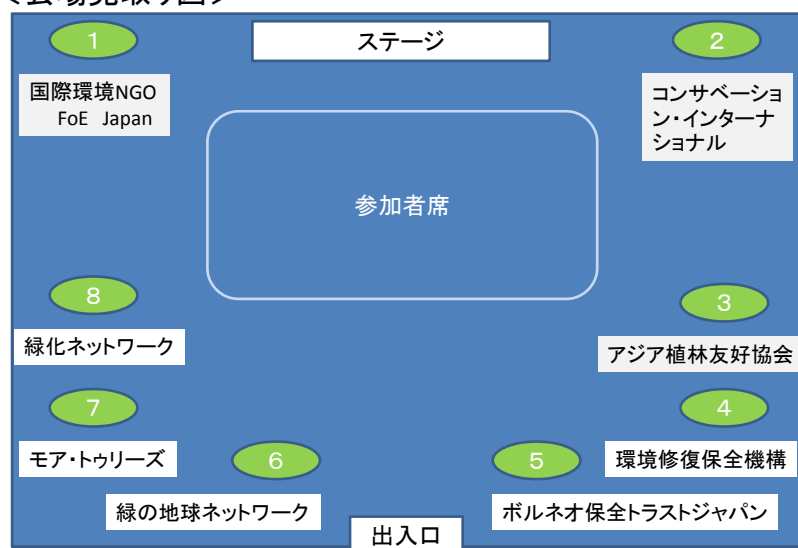
<p>9</p> <h3>優良事例からのパートナーシップにおける課題克服のヒント</h3> <p>パートナーシップの優良事例より</p> <p>近年、パートナーシップの内容は、従来の単発的な資金提供(寄付)から、継続的な支援や企業側担当者の現地訪問・調査・企画・評価への参加など、多様化してきているが、成功している優良事例には、共通点が見られる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企業の共通点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林保全への取り組みを、社の方針として位置付け</td> </tr> <tr> <td>企業にオーナーシップがあり、内容に踏み込んだ長期的な連携</td> </tr> <tr> <td>世界の森林問題に取り組み、解決するという大目的を企業とNGO/NPOが共有</td> </tr> <tr> <td>NGO/NPOや地元団体、地元コミュニティと信頼関係を築いている</td> </tr> </tbody> </table> <p>地球・人間環境フォーラム</p>	企業の共通点	森林保全への取り組みを、社の方針として位置付け	企業にオーナーシップがあり、内容に踏み込んだ長期的な連携	世界の森林問題に取り組み、解決するという大目的を企業とNGO/NPOが共有	NGO/NPOや地元団体、地元コミュニティと信頼関係を築いている	<p>10</p> <h3>海外の企業の森林保全活動のトレンド</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th>欧米の企業による森林保全活動の特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NGOとのパートナーシップを組んで森林保全活動に取り組む例が多い。</td> </tr> <tr> <td>原材料調達を通しての森林保全活動が企業戦略に組み込まれている。</td> </tr> <tr> <td>国内に炭素クレジットや生物多様性オフセットの制度的な枠組みがあり、その一環としての森林保全活動が行われている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>日本と比較して、欧米では社会的なNGO/NPOの信頼度が高く、企業とNGO/NPOとの関係が成熟している。NGO/NPOとのパートナーシップにおいて、より長期的ビジョンを持ち、戦略的に取り組んでいる企業の例が多い。森林保全分野において、長期的ビジョンは重要な要素である。</p> <p>地球・人間環境フォーラム</p>	欧米の企業による森林保全活動の特徴	NGOとのパートナーシップを組んで森林保全活動に取り組む例が多い。	原材料調達を通しての森林保全活動が企業戦略に組み込まれている。	国内に炭素クレジットや生物多様性オフセットの制度的な枠組みがあり、その一環としての森林保全活動が行われている。
企業の共通点										
森林保全への取り組みを、社の方針として位置付け										
企業にオーナーシップがあり、内容に踏み込んだ長期的な連携										
世界の森林問題に取り組み、解決するという大目的を企業とNGO/NPOが共有										
NGO/NPOや地元団体、地元コミュニティと信頼関係を築いている										
欧米の企業による森林保全活動の特徴										
NGOとのパートナーシップを組んで森林保全活動に取り組む例が多い。										
原材料調達を通しての森林保全活動が企業戦略に組み込まれている。										
国内に炭素クレジットや生物多様性オフセットの制度的な枠組みがあり、その一環としての森林保全活動が行われている。										
<p>11</p> <h3>海外の企業のパートナーシップのトレンド</h3> <p>欧米の企業とNGO/NPOによる森林保全活動調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2009年度アメリカの企業とNGO/NPOのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> □ 企業: マーテンギター社、PG&Eなど4社 □ NGO/NPO: WWF、コンサベーション・インターナショナル他4団体 ● フィリピン現地視察 <ul style="list-style-type: none"> □ ベニヤプランカ持続可能な森林再生プロジェクト(コンサベーション・インターナショナル) □ カリヤヤ水源林保全(ハリボン協会) ● 2010年度イギリス企業とNGO/NPOのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> □ 企業: NGO/NPO: パードライフ・インターナショナル、FFI、リオ・ティント社他5団体 ● インドネシアにて現地視察 <ul style="list-style-type: none"> □ ハラバン熱帯林再生プロジェクト(パードライフ、ブルング) <p>地球・人間環境フォーラム</p>	<p>12</p> <h3>欧米企業とNGO/NPOとのパートナーシップのメリット</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門性の確保 NGOは地域の生態系の専門知識を有し、炭素クレジットや生物多様性オフセットなどの制度に詳しい。 2) 広範なネットワークの活用 森林保全プロジェクトは多くのステークホルダーが関与するため、NGO/NPOのネットワークは重要と考えられている。 3) 中立的な立場で企業間士のコミュニケーションを促進 企業同士では共有できない情報が、NGOが介在することで共有できるなどのケースがあり、持続可能な木材調達への取組に際して有効に機能する。 <p>地球・人間環境フォーラム</p>									
<p>13</p> <h3>ガイドブック「企業とNGO/NPOのパートナーシップによる世界の森林保全に向けて」</h3> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林保全活動に関心を持つ企業が増加 ● NGO/NPOとのパートナーシップも増加傾向 ● 森林保全活動やパートナーシップには課題も <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林とその保全についての理解(現状、森林の役割、保全の方法と留意点) ● NGO/NPOとのパートナーシップに関する理解を促進(効果と課題) <p>より効果的な森林保全とパートナーシップの促進へ</p> <p>地球・人間環境フォーラム</p>	<p>14</p> <h3>ガイドブック「企業とNGO/NPOのパートナーシップによる世界の森林保全に向けて」</h3> <p>コンテンツ</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1章 世界の森林は今 第2章 森林のさまざまな機能 第3章 企業がなぜ森林保全に取り組むのか? 第4章 森林保全のさまざまな方法 第5章 多様な森林保全の手法と留意点 第6章 森林保全活動におけるNGO/NPOとのパートナーシップ 第7章 企業とNGO/NPOのパートナーシップのあり方と優良事例 第8章 森林保全活動にかかる費用 第9章 森林保全活動の評価 第10章 森林保全活動に関するガイドラインとその活用 <p>地球・人間環境フォーラム</p>									

シンポジウム「みんなで守り育む世界の森2011」	
パート2: NGO/NPOと企業の情報交換会	
ブース1	国際環境NGO FoEJapan 対象地: インドネシア
Web	http://www.foejapan.org/climate/doc/adaptation_mangrove.html
	インドネシア、ジャワ島中部のコミュニティ自立型環境共生社会構築支援活動 インドネシアでは、地球温暖化や急激な経済成長に伴う大規模な開発事業の増加により、地域社会の生業(なりわい)である森林・林業、農業、漁業など第一次産業が荒廃し、失業や貧困問題が深刻化しています。FoE Japanは、コミュニティ自立型の持続可能な森林経営や土地利用を通じた環境共生型社会の構築を支援しています。山間部では水源保全のためのアグロフォレストリー(農林複合経営)を支援し、沿岸部では海面上昇による浸食や浸水を緩和するために、マングローブの森の再生に取り組んでいます。また、インドネシアの木材消費国である日本の市場と持続可能なコミュニティ林業とを結びつけることで、消費行動の変革による森林保全を目指しています。
ブース2	コンサベーション・インターナショナル日本プログラム 対象地: インドネシア・フィリピンほか
Web	http://www.conservation.or.jp/
	森林は、多くの生き物の生息地であると同時に、水源や二酸化炭素の吸収・固定源として、重要な場所であるが、世界の森林は、木材需要や農地や都市の開発のために減少を続けている。CIは、以下のような事業を通して、さまざまなセクターとのパートナーシップに基づく森林保全に取り組んでいる。 1. インドネシアの国立公園の緩衝地帯において、ダイキン工業と協働する森林再生事業。アグロフォレストリーによる再植林に加え、エコツーリズム支援や環境教育、生物多様性モニタリング等、地元を支える様々な支援を実施。 2. コスタリカとパナマの国境地帯ラ・アマスタッド自然保護区の緩衝地帯において、地元のコーヒー生産農家と環境に配慮したコーヒー生産に取り組むながら、農園周辺への再植林を実施。2009年よりトヨタ環境財団が支援。 3. フィリピン・ルソン島北部のベニャランカ保護区で、トヨタ自動車と進める森林再生事業。地元の行政と連携し、住民の生計手段の多様化や能力構築を行い、持続可能な社会体制作りに取り組む。 4. フィリピン・キリノ州で、モア・トゥリーズと進める森林再生事業。地元社会や生物多様性にも配慮しながら、カーボンマーケットを持続的な活動のインセンティブとしている。
ブース3	アジア植林友好協会 対象地: インドネシア
Web	http://www.agfn.org
	NPOアジア植林友好協会は、世界で一番貴重で危機的な森林とされている、インドネシアの熱帯雨林の保護と修復活動を2002年より行っています。以下の植林活動を行っております。 ① 地元NGOを通じて農民の収入機会をえるために経済木の寄付 ② 農民の耕作放棄・荒地への経済樹種の寄付植林(林業の育成を目指す) ③ 孤児院の遊林地への経済木の寄付植林～持続的な収入源を確保する～ ④ 林業公社の保護林の保護と再生のための樹下植林寄付～天然林の再生を目指す～ ⑤ 国立大学の演習林の二次林への樹下植林による天然林の再生 以上はインドネシア東カリマンタン州バリックパパン市、サマリダ市にて実施 ⑥ インドネシアバリ州政府の依頼を受けて、バツール湖の周辺水源涵養林の造成協力
ブース4	環境修復保全機構 対象地: タイ、カンボジア、フィリピン
Web	http://www.erecon.jp/
	特定非営利活動法人環境修復保全機構(ERECON)は、日本を含むアジア諸国における農業的・都市的開発と自然環境との調和を目指した環境修復保全に取り組み、環境教育啓蒙の活動を通して、自然資源の持続的利用に寄与することを目的として活動しています。現在アジアにおける環境保全型農業の確立を目指して、以下のような草の根活動を展開しています。 ■環境修復保全事業 タイ国東北部での塩類集積地における植林によるアグロフォレストリーづくりや、南部津波被災地での農地の土壌修復保全などを行っています。 ■自然資源利用事業 タイ国北部で有機農業の推進および自然資源の持続的利用などに取り組んでいます。 ■環境教育啓蒙事業 カンボジア国、タイ国、フィリピン国、ラオス国の現地農家を対象とした環境保全型農業の推進並びに小学校での食農環境教育などを実施しています。 対象国: タイ、カンボジア、フィリピン、ラオス、国内 対象者: 現地農家、地域住民、小学生 ほか 活動分野: 農村開発、植林・森林の保全、土壌・大気、生物多様性、ESD
ブース5	ボルネオ保全トラストジャパン 対象地: マレーシア・サバ州
web	http://www.bctj.jp/
	活動内容: 熱帯雨林が伐採され、アブラヤシのプランテーションにどんどん転換されるため、野生生物保護区は海に浮かぶ孤島状態になっている。生息地を分断化されたため、オランウータンなどの野生生物は個体数が減少したり遺伝子の多様性が失われたりしている。BCTジャパンは、1. ボルネオ緑の回廊(2万ha)・・・分断化された森(保護区)を結ぶ土地を川沿いに確保し、野生動物が自由に移動できるようにする、2. オランウータンのための吊り橋、3. 人間と動物の衝突を回避する野生生物レスキューセンターなどの事業を行っている。 アピール: 200円で畳1枚分の森を買えます。森をオランウータンにプレゼントしてください。日本人全員が1畳分ずつプレゼントすれば、ボルネオ緑の回廊2万haは実現できます。

ブース6	緑の地球ネットワーク	対象地: 中国
Web	http://homepage3.nifty.com/gentree/	
	<p>緑の地球ネットワーク(GEN)は、1992年に中国山西省大同市の黄土高原で緑化協力をはじめました。苗木代の提供にはじまった協力活動はさまざまにひろがりながら、今年で20年目をむかえました。</p> <p>山地・丘陵地にマツなどを植えて水土流失を防ぐ『地球環境林』、貧しい農村に果樹園をつくり利益の一部を教育の改善にあてる『小学校付属果樹園』の造林プロジェクトにくわえ、育苗、樹種の多様化、本来の植生回復など、技術面の協力を力にかけています。大同はもともとあった森林を人間が破壊してきた地域です。緑を回復するには人の力が必要です。よく見られる単一樹種による一斉造林は、病虫害や自然災害に弱いという欠点があります。多様性のある森林を再生することが環境破壊と貧困の悪循環から脱出する道筋だと考え、専門家のサポートをうけて、地元の農民に受け入れられるよりよい緑化の方法のモデルをつくり、提案していきます。</p>	
ブース7	モア・トゥリーズ	対象地: フィリピンなど
Web	http://www.more-trees.org/	
	<p>more trees(モア・トゥリーズ)は、文字通り「もっと木を」という呼びかけのもと、2007年に設立された森林保全団体です。木をふやし、森をふやし、森が吸収するCO2をふやすことを、また森が本来抱えている保水力や生物多様性をはくむ力を回復することを目指しています。</p> <p>more treesは日本の森林においては間伐という森の手入れを、熱帯地域や砂漠においては植林を進め、数々の森林再生プロジェクトに取り組んでいます。同時に、森づくりによって高められる森のCO2吸収能力によってCO2を相殺する「カーボンオフセットサービス」を企業や一般の方々に向けて展開しています。また、2009年からは、間伐作業によって生み出される間伐材を使ってオリジナルプロダクトの開発にも取り組み始めました。</p> <p>more treesは、森づくりを推進するとともに森の恵みを最大限に活用することによって、更なる森づくりの推進に役立てていきます。</p>	
ブース8	緑化ネットワーク	対象地: 中国
Web	http://www.green-network.org/	
	<p>緑化ネットワークは、2000年より中国内モンゴル自治区ホルチン砂漠で砂漠緑化・砂漠化防止活動を展開しています。目的は三つ。第一に、過放牧・過開墾など人為的な原因で喪失・劣化する植生の回復です。そのため、土地の利用と保全のバランスを重視し、過剰植栽を避けて防風防砂、在来植生の回復、経済性の三つの観点から緑化を行っています。第二は、住民による緑化活動の展開を可能とすることです。そこで、村落単位で10年以上の長期にわたり住民の活動参画を進め、小規模なモデルパターン作りを行っています。現在プロジェクトリーダーは地元出身のスタッフで、最終的には我々が現地が必要とされなくなることを目指しています。第三は、消費者として砂漠化や環境破壊に関わる都市住民の参加です。ボランティアツアーへの参加を通じて現状を知り、様々な作業や住民との交流を通じて砂漠化や環境問題を身近に捉えて日常に活かして頂ければと考えています。</p>	

NGO/NPOとの情報交換・交流会

<会場見取り図>



添付資料 4 シンポジウムでのアンケート用紙

シンポジウム「みんなで守り育む世界の森 2011
—企業と NGO/NPO のパートナーシップによる森林保全活動—
アンケート

【パート1】

Q1. 特に関心をもたれたのはどの講演ですか。(複数回答可)

- 「企業による海外での森林保全活動—成功の秘訣」
日比保史氏
- 「アウトドアメーカーが取り組む森林保全活動」
篠健司氏
- 「国内・海外企業の森林保全活動のトレンド」
飯沼佐代子

Q2. 講演の内容は、いかがでしたか?

- 期待どおり ほぼ期待どおり どちらともいえない やや期待外れ 期待外れ
ご意見・ご感想

[]

【パート2】

Q3. NGO/NPO と企業との情報交換・交流会はいかがでしたか

- 興味深かった それなりに興味深かった あまり興味がなかった 全く興味がなかった
ご意見・ご感想

[]

Q4. 企業と NGO/NPO とのパートナーシップによる森林保全活動について、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[]

※ 任意でご記入ください

- 名前： _____ ご所属： _____
地球・人間環境フォーラムのメールニュースを
 希望する→メールアドレス (携帯メールアドレスは不可) (
 希望しない
 すでに配信を受けている

ご協力ありがとうございました。
地球・人間環境フォーラム

平成 22 年度環境省請負事業

森林保全分野のパートナーシップ構築のあり方
調査報告書

2011 年 3 月

財団法人 地球・人間環境フォーラム
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16 成田ビル 3 階
TEL : 03-3813-9735 / FAX : 03-3813-9737
<http://www.gef.or.jp> contact@gef.or.jp

この印刷物は印刷用の紙にリサイクルできます